
大規模過ぎる五武山市での逃走中～スマブラ+とある魔術の禁書目録+～

ほーき雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大規模過ぎる五武山市での逃走中〜スマブラ+とある魔術の禁書
目録+〜

【Nコード】

N4121Y

【作者名】

ほーき雲

【あらすじ】

史上最大規模の逃走中が今、始まる！逃走者150人、逃げ切れば1800万円！逃げ切るのは誰だ！？

当麻「これ学園都市でやるんじゃないの？」

ほーき雲「違うんだよ。エリアはやっぱり僕が作った架空の都市、五武山市だよ。」

ゲーム説明

五武山市のある場所にて、学園都市と五武山市の間で友好関係が結ばれた。そしてこれが、史上最大規模の逃走中の始まりであった。

ゲームはマスターハンドとアレイスターと作者(?)が管理。クロノス社の月村サトシはマスターハンドの手によって今回は関連しないことになった。

参加者は150人。名前のみの紹介

スマブラ系45人

マリオ

ルイージ

ピーチ

ヨッシー

クッパ

ドンキーコング

ディディーコング

ワリオ

カービィ

デデデ
メタナイト
ネス
リユカ
サムス
リンク
ゼルダ
トウーンリンク
ガノンドロフ
ピット
レッド
リザードン
ゼニガメ
フシギソウ
ピカチュウ
ピチュー
ルカリオ
プリン
フォックス
ファルコ
ウルフ
ソニック
スネーク
オリマー
赤ピクミン
青ピクミン
黄ピクミン
紫ピクミン
白ピクミン
ポポ

ナナ
キャプテンファルコン
ロボット
Mrゲーム&ウオッチ
アイク
マルス

とある魔術の禁書目録系21人

上条当麻
インデックス
御坂美琴
御坂妹10032
御坂妹10033
御坂妹10034
御坂妹10035
打ち止め
一方通行
白井黒子
月詠小萌
土御門元春
土御門舞夏
青髪ピアス
風斬氷華
ステイル¨マグヌス
神裂火織
冥土歸し
姫神秋沙
アウレオルス¨イザード

芳川桔便

その他何でもあり84人

どせいさん

モンキーDルフィ

ロロノアゾロ

ナミ

ウソップ

サンジ

チョッパー

ロビン

フランキー

ブルック

外辺久(オリキャラ)

レアライトロード(オリキャラ)

物上由衣(オリキャラ)

ライブラリ(オリキャラ)

キノピオ

キノピコ

キノじい

デイジー

ワルイージ

クリボー

緑ノコノコ

赤ノコノコ

緑パタパタ

赤パタパタ

カメック

ハンマーブロス
ファイアブロス
ブーメランプロス
カロン
ヘイホー
テレサ
ベビィマリオ
ベビィルイージ
ノワール伯爵
ディメーン
ドドンタス
ナスタシア
マネーラ
いも（オリキャラ）
いも2（オリキャラ）
たぬきち
まめきち
つぶきち
つねきち
リセットさん
あやしいネコ
しらさん（募集より）
成歩堂龍一
御剣怜侍
綾里真宵
狩魔冥
ゴドー
裁判長
王泥喜法介
成歩堂みぬぎ

牙琉響也
一条美雲
狼士龍
東和馬
東稻穂
東馬太郎
東馬三郎
河内恭介
梓川月乃
梓川水乃
梓川雪乃
諏訪原戒
松代健
木下陰人
黒柳亮
マイスター霧崎
冠茂
ピエロ・ボルネーゼ
ドラえもん
野比のび太
源静香
骨川スネ夫
剛田武
ドナルド・マクドナルド
キヨロちゃん
ペコちゃん
藤田（クロノス社支部）
藤川（クロノス社支部）
藤江（クロノス社支部）

逃走時間1000分(約16時間)。賞金1秒300円。逃走成功で1800万円。(!!!!!!)

エリアは五武山市五武山町。広さは東京ドーム50個分。

次回より史上最大規模の逃走中が始まります。

オープニングゲーム

「これより、ゲームを始める。君達の前にいる3体のハンターはボックスの中に閉じ込められている。目の前にある色分けされた鎖は全部で60本。そのうち1本だけがボックスの扉を開放するハズレの鎖。それを引くと3体のハンターが解き放たれ、ゲームがスタートする。」

インデックス「エリアは相当広いつて聞いたよ。なのにハンター3体しかないの?」

ネス「おかしい、逃走者は全部で150人いるはず。なのに鎖が60本しかないなんて。」

マスターハンド「答えてあげよう、まず本編と同様にくじをひく。そのうち90本は当たりで先に逃げられる。しかしそれ以外の60本は今まで通り1〜60までの番号が書いてあるからその順番で鎖を引いてもらうよ。そもそもこんなところに150人もいたら狭いでしょ。だから60人にしぼるんだ。」

当麻「3分の2の確率で当たりか。」

インデックス「とうまが当たりを引くと思ってるの?」

当麻「ムカつく……。」

そしてくじを引き、全員順番が決まった。当然上条当麻は鎖を引くことになった。しかし、当麻のことを笑ったインデックスは1番に鎖を引くことになった。

インデックス「じゃあこのレモン色。」

クリアか？ハンター放出か？

ガチャン

シーン

インデックス、クリア。

残り59本。

続いてスマブラメンバー、ウルフ。

ウルフ「そんじゃ銀色。」

ガチャン

シーン

ウルフ、クリア。

残り58本。

続いてはスーパーペーパーマリオから登場のディメーン。

ディメーン「紫でも引こうかな。」

ガチャン

シーン

ディメーン、クリア。

続いて藤江がオレンジを引いてクリア。

リュカが赤を引いてクリア。

クリボーが茶色を引いてクリア。

続いて鎖を引くのは、しらだ。

マリオ「なんでしらがいるんだよ!」

ほーき雲「募集による参加。こいつは僕が相手するからしらさんは鎖を引いてください。」

マリオ「おかしいだろ、しらがでるなんて。」

ほーき雲「これ以上文句言ったら強制失格にするよ。」

マリオ「。。。。。」

ほーき雲「では、しらねえぞ。」

しら「それじゃ白を引くぞ。」

ガチャン

シーン

クリア

残り53本

続いて焼きたてジャぱんから参加。アフロ店長、松代健。

松代「黒引いてみるか。」

ガチャン

シーン

クリア

残り52本

続いて成歩堂龍一が青を引いてクリア。

アウレオルス「イザードが緑を引いてクリア。」

東馬三郎がレインボーを引いてクリア。

プリンはピンクを引いてクリア。

続いて不幸体質の上条当麻。

当麻「この透明（金箔入り）を引いてみよう。」

果たして上条当麻の運命は！？

当麻「引くぞ！」

ガチャン

ガコン

ハンター放出。

当麻「不幸だ〜。」

しかし当麻は逃げる途中、誰かを抜いた。

紫ピクミン「こっち来たあ。」

紫ピクミンだ。

こんなデブがハンターを撒ける訳も無く……。

ポンッ

紫ピクミン確保。残り149人。

確保情報はメールで通知される。

オリマー「紫ピクミン捕まった……。」

くじが当たりだったため、先に逃げていたオリマー。紫ピクミンの確保が悲しいようだ。

その頃、タブーは何かをたくらんでいた。

タブー「しかし逃走者が邪魔だな。まずは逃走者を減らすとしよう。」

「

タブーは『HUNTER BOX 25』を押しした。

残り996:00 逃走者149人

続く

オープニングゲーム（後書き）

だいたいどんなミッションが出るかわかりましたよね？

MISSION 1 & amp; YAMADA'S SHOP (前書き)

ゲスト参加募集より、郡司侑輝さんが登場します。

MISSION 1 & a m p · YAMADA · S SHOP

タブーの企みは止まらない。五武山市に現れたタブーは宅配便に変身した影虫を連れてとある家の前に行った。

宅配便「宅配便です。」

郡司「はい。……ってうわぁ！」

そこに住んでいたのは募集参加の郡司侑輝さんだ。

タブー「こいつで構わん。連れて行け。」

こうして郡司さんはタブーにさらわれてしまった。

一方逃走者と言いますと。

アクセラレータ
一方通行「ん、メールかア？」

【MISSION 1】タブーの手によって25個のハンターボックスが設置された。残り975分になるとハンターが放出される。阻止するにはハンターボックスの扉をロックしなければならぬ。さ

らに、今から3分間裏切り者を募集する。裏切り者は先着1人のみ。裏切り者は逃走者の居場所をハンターに伝え、確保されたら賞金10万円獲得となる。

ガノンドロフ「よし、裏切ろう。……もしもし、えっ!!!
もう先に裏切ったやつがいるだど!？」

出ました恒例の「裏切り者を募集してガノンドロフが裏切ろうとしたら誰かが先に裏切ったパターン」。

一方ミッションの方については……。

ゾロ「ハンター放出阻止するか。」

ネス「よし、行こう!」

ブルック「ハンター放出されたら確実に死にますからね。行きましよう。まあもう死んでますけどね。によほほほほ。」

馬太郎「わしじゃ無理だ。和馬に頼もう。」

和馬「おっ、電話じゃ。なんだ?馬太郎じいちゃん。」

馬太郎「おお、和馬。ミッション行ってくれないか?」

和馬「おう!行くぞ!」

ゾロ、ネス、ブルック、東和馬とそれ以外にも何人がミッションに向かうようだ。

ネス「1個見つけた！」

ガシヤン

残り24個

ステイル「これがハンターボックスだな。」

ガシヤン

残り23個

カービィ「あつちにハンターボックス見つけたからそれだけやって
おこつ。」

そのカービィの近くにハンター。

カービィ「ハンターだ！」

ハンターに気づいて逃げるカービィ。

ハンター「・・・！」

見つけた。

必死に逃げるカービィ。しかし、何かにぶつかった。

水乃「わあ。何!？」

梓川水乃だ。

カービィ「ハンター来てるよ！」

水乃「逃げよう。」

2手に別れて逃げるカービィと梓川水乃。ハンターが視界にとらえたのは……

水乃「こっちなのお。」

梓川水乃だ。

どんだんハンターとの距離は縮まり……

ポン！

梓川水乃確保、残り148人。

カービィ「ハンターボックスの場所見失ったなあ。」

しかしカービイが見失ったハンターボックスの近くに誰かが現れた。
ピット「あつ、ハンターボックスだ！」

ガシヤン

残り22個

外辺久「どこだハンターボックス？」

ハンターボックスを探す不幸体質外辺久の近くに、同じ不幸体質の上条当麻だ。

当麻「おや？不幸な外辺久君じゃないか。」

久「お前も不幸体質だろ！」

そこに2体のハンター。……って言うか東京ドーム50個分という広いエリアにハンター3体中2体近づいて来るってさすが不幸体質×2だけのことはある。

ハンター×2「……！」

見つかった。

なんと2人は同じ方向へ逃げて行く。

ハンター×2「……？」

2人共うまく撒いたようだ。

当麻& amp・久「久（当麻）の不幸体質のせいでハンター2体も来やがった。」

当麻「お前のせいだろ！」

久「いや、お前のせいだ！」

これ以上はきりがないので無視します。

どせいさん「あつ、黄ピクミンだ。」

どせいさんと黄ピクミンが出会った。

黄ピクミン「ミッション行く？」

どせいさん「行こうと思っているんだ。」

黄ピクミン「それじゃ、行こうか。」

ミッションに行く者がまた増えた。

10032「おや、上位個体じゃないですか。とミサカは言ってみます。」

10034「ミッションはどうしますか？とミサカは下位個体に質

問します。」

10032「私は行く気はありません。とミサカは上位個体の質問に答えます。」

10034「ハンターですよ。とミサカは下位個体に警告します。」

2人の御坂妹の近くにハンター。

ハンター「……………!!!」

しかしハンターは別の逃走者を見つけた。

マリオ「ちくしょう、ハンターだ。」

それはマリオだった。

しかし、ハンターとの距離が近かったのがいけなかったのか……

ポン！

マリオ確保、残り147人。

その頃、エリア東側のとある場所。

ネス「なんか変わった店ですね。」

D「そう？ここは『YAMAD'S SHOP』っていう店の本店だよ。『ヤマデイズ ショップ』って読むんだ。僕は総合店長のD。他にも逃走エリア内にここを入れて8ヶ所。五武山市内だところを入れて約40ヶ所も店を展開しているんだ。さらに逃走者には逃走者用永久無料券ってやつがあるはずだけど。」

ネス「あつ、これだね。」

D「それぞれ、それは逃走中が終わるまでずっと持っていていられるからね。」

このYAMAD'S SHOPがのちに重要な役割を果たす。

ゾロ「おつ、ハンターボックスだ。」

ガシャン

残り20個

デ이지ー「ハンターボックスねえ、どこかな？」

そこに裏切り者。

「???? デイジー、デパート五分五分いぶんいぶんの近くにいます。」

1体のハンターがデイジーに近づく。逃げ切れるか!?

残り986:30 逃走者147人

続く

MISSION 1 & amp; YAMADA'S SHOP (後書き)

タブー「これでこの五武山市は俺の物……。逃走者さえいなくなれば……。フッフッフッ。」

マスターハンド「しかしなんでタブーがハンターを放出させるんだ？」

ほーき雲「もしかして逃走者を減らすのが目的かも。」

マスターハンド「何にしるタブーが関わっているのは非常に危険だ。気をつけた方が良い。」

アレイスター「……………」

MISSTION1終了(前書き)

ミッションの結果はどうなるのでしょうか？

MISSION 1 終了

裏切り者の通報によりデイジーがハンターに見つかった。

やっぱり逃げられないのか……。

ポン！

デイジー確保、残り146人。

ピーチ「何？デイジー確保！？裏切り者！？」

リンク「ガノンか。」

勝手に裏切り者がガノンだと決めつけるリンク。しかし、裏切り者はガノンではない。

しら「裏切り者になりたかったなあ。」

実はしらさんも裏切り者になろうとしていた。しかし、それより早く立候補したやつがいるのだ。

しら「あれハンターボックスじゃん。」

ガシャン

残り19個

どせいさん「あっハンターボックス。でも届かないよ。」

背が低すぎて放出阻止レバーに手が届かないどせいさんと黄ピクミン。
ン。

黄ピクミン「あれ？裏に誰がいる？」

誰かが裏にいるのに気づいた黄ピクミン。裏にいたのは……………。

スネーク「なんだ、黄ピクミンか。」

スネークだ。

スネーク「……………ってこれハンターボックスだったのか!?!」
気づいていなかったようだ。

ガシャン

残り18個

トウーンリンク「あっ、ゼルダだ。裏切り者は……………」

ゼルダ「ガノン。」

トウーンリンク「まだ言い終わって無いのに。」

ちなみに、裏切り者はガノンではない。

スマブラ逃走中お約束の出来事。ガノンは裏切り者ではないが、やたらと疑われる。

ガノンドロフ「いつも同じなんだよ。裏切り者じゃないのに裏切り者だなんて言われて、しかも何の根拠も無いのに。」

愚痴を言う魔王……。

キヨロちゃん「ハンター全然いないクエツ。」

インデックス「あつ、キヨロちゃんだ〜。」

キヨロちゃんとインデックスが出会う。しかし出会って一緒に行動することになっただけで何もなし。(笑)

インデックス「その言い方ひどいかも。」

類似「ほーき雲は僕のこと嫌いじゃないから安心……ってなんで類似にするんだよ！ほーき雲は僕のことむしろ好きだって言うから安心してたのに。」

ほーき雲「ギャグだよ。ギャグ。」

管理室で、ほーき雲はモニターを見ながらそう言った。

ブルック「やっと見つけましたよ。」

ガシヤン

残り17個

そしてあちこちで

ガシヤン

ガシヤン

ガシヤン

ガシヤン

ガシヤン

残り12個

ネス「また見つけた。」

ガシヤン

残り11個

ミッション終了まで6分を切った。

残り981:00

打ち止め「なんかピエロがいるよ!とミサカはミサカは驚いてみた
り。」

ピエロ「僕は世界レベルのピエロだよ。君の名前はラストオーダー
だったかな?」

打ち止め「なんか言い方変だよ。ってミサカはミサカは言い返して
みたり。」

ここで言うピエロとは、焼きたてジャぱんに登場するフランスのピ
エロ・ボルネーゼのことです。

打ち止め「ミッション行くの?ってミサカはミサカは質問してみた
り。」

ピエロ「世界レベルのピエロともなればミッションなんて簡単さ。
」

打ち止め「おお、頼もしい。ってミサカはミサカは拍手してみた
り。」

こいつらの会話は終わりそうにないので次いきましょう。

ソニック「見つけた!」

ガシャン

残り10個

さらに立て続けに7個もハンターボックスを封印。残り3個となった。

残り976:30 ミッション終了まで残り1:30

???「あつ、ハンターボックス……。裏切り者だけどやっておくか。」

ガシヤン

残り2個

ミッション終了まで残り30秒

ネス「もう残り30秒しかない！」

黒柳「これで大丈夫なのか？」

このままだと2体のハンターが放出され、ハンターの数はいくつになる。

アウレオルス「ハンターボックスか。向こうにあるから止めに行こう。」

しかし前方からハンター。

ハンター「……………！」

見つかった。

アウレオルス「ゲツ！ハンター！」

一生懸命逃げるアウレオルス「イザード。しかし……。

ポン！

アウレオルス「イザード確保。残り145人。

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

プシュー！

2体のハンターが放出され、ハンターは5体となった。

元春「ハンター5体か。ちょっとヤバイかもしれないや〜。」

「???」「これが裏切り者にとって吉と出るか凶と出るか……。まあ5体くらいがちょうどいいんだろ〜な。」

レアライトロード「青ピクミン見つけた〜。」

青ピクミン「あっ、レアライトロードさん。逃走成功への道ってわかりますか?」

レアライトロード「私は信用しない方が良いでしょう。7割方間違っているからね。」

青ピクミン「それでも一緒に行動しませんか?」

レアライトロード「良いよ〜。」

その頃、タブーは。

タブー「やっとできた。新開発の亜空間爆弾だ！」

郡司「爆弾・・・？」

タブー「さあ、お前！これをつける！」

郡司「ええええええー！！！！！」

タブー「それはハンターに捕まったら爆発するからな。」

郡司「なにいいいー！！！！！」

タブー「さあ、外に出ろ。そして確保されて来い！そうすれば五武山市は俺のものだ！」

郡司さんはタブーのアジトを追い出されてしまった。

郡司「ハンター来たら爆発しちゃうんだ。」

マスターハンド「なんだって！」

その情報はすぐマスターハンド達管理側に知られた。

ほーき雲「どうしよう？？」

マスターハンド「これはどうやら40分で効果が消えるみたいだ。」

ほーき雲「そうだ、アレを使ってみませんか？アレがあれば20分

で効果が消えますよ。」

マスターハンド「しかし、アレがどこにあるというのかな？」

ほーき雲「あります。エリア内8ヶ所のある店に行けば……。その総合店長のDという人に連絡してみます。」

マスターハンド「頼んだぞ。ほーき雲。」

残り時間 970:00 逃走者 145人

続く

MISSION 1 終了 (後書き)

タブー「管理側と手を組めばたやすいことだ。ハッハッハッ。」

そして次回はミッション2です。

MISSION 2 (前書き)

郡司さんの役目が多いのがこのMISSION 2。

MISSION 2

ブルルルルル

メールだ。

リユカ「ミッション来た！」

「【MISSION 2】現在、募集参加の郡司侑輝さんがタブーが新たに開発した亜空間爆弾を背負ってエリアを歩いている。もし、郡司さんがハンターに捕まれば、郡司さんがいた場所から半径1km圏内が亜空間となり、そこにいた逃走者は強制失格となる。阻止するには、残り930分まで郡司さんがハンターに捕まらないように守れ。なお、エリア内8ヶ所にある『YAMADA'S SHOP』で『亜空間阻止装置』を手に入れば残り950分まで守れば良い。また、これより一時的にデパート五分五分ごごごごに進入可能とする。」

ネス「さっきの場所だね。Dさんからもらおう。」

ネスは先程出会ったDのもとへ。

それ以外の者もYAMADA'S SHOPを探しに行く。

そんな中、ある人物が五武山市に到着した。

スライマン「えーっと、Dさんだっけ。」

それは募集参加のスライマンさんだ。スライマンさんはどつちやらDに用があるらしい。

一方、YAMAD'S SHOP本店では。

D「新しく学園都市にYAMAD'S SHOPをオープンか。店長のスライマン君が来るといふのにいきなりほーき雲から亜空間阻止装置を用意してくれと言われてもね……。まあ在庫はあるからいいんだけど。あまりにも忙しすぎるよ。」

そこにネスが現れた。

ネス「Dさん、亜空間阻止装置ください！」

ネスは逃走者用永久無料券を提示して言った。

D「ほらよ！」

ネス「ありがとう！」

ネス、亜空間阻止装置獲得。

一方、郡司さんに直接向かう逃走者もいる。

しら「おーい！」

しらさんと

ウルフ「おっ、しらもいるのか。」

ウルフだ。

郡司「しらさんにウルフか。どうか守ってください。そうしないと背中の爆弾が……。」

ウルフ「大丈夫だ。タブーの思うままになるスマブラメンバーはいねえ。」

そんな郡司さんのところに電話がきた。郡司さんにも直接電話することは可能だ。

郡司「ネスからだ。」

ネス「郡司侑輝さんですね。今亜空間阻止装置を手に入れてそちらへ向かうところなんです、今どこら辺にいますか？」

郡司「ここはYAMADA'S SHOP本店の近くですね。」

ネス「あつ、そこそこ近いんですね。今すぐ向かいます。」

郡司「お願いね！」

成歩堂「今すぐいかなきゃ。」

成歩堂龍一は自身の性格上、よくミッションに行くようだ。

しかしその近くにハンター。

成歩堂「うわっ、ハンターだ。」

ハンターに気づいて逃げる成歩堂。

ハンター「!!」

見つけた。

それなりに足も早く、うまく逃げている様子だがハンターとの距離は近くなっていく。そしてついに……。

ポン!

成歩堂龍一確保。残り144人。

????「全然出番ねえ。」

通報のチャンスが訪れず、イライラする裏切り者。しかし、裏切り者が2人目の獲物を見つけた。

????「ペコちゃんかよ。」

ペコちゃんだ……。

????「ペコちゃん、牢獄付近にいます。」

その頃、裏切り者に通報されていることに気づかないペコちゃんは・
。。。

ペコちゃん「いろいろときついよね。」

確保された人と話していた。

背後から来ているハンターに気づかない。

牢獄の者「ペコちゃん、ハンター来たぞ！」

しかし時すでに遅し。

ポン！

ペコちゃん確保。残り143人。

牢獄の者「あぁー。」

ペコちゃん「えっ、裏切り者の通報なの？」

牢獄の者「裏切り者かよ。」

残り963:00

ネス「郡司さん！」

郡司「ネス！」

郡司さんとネスが合流。ネスは亜空間阻止装置を使用する。これで、ミッション終了まで残り13分となった。

しかし4人の近くにハンター。

ハンター「……!!」

見つかった。

4人「ハンター！」

一斉に逃げる。そして別れ道でウルフとそれ以外に分かれる。ウルフは少し立ち止まり、ハンターをおびき寄せる。ウルフの思惑通り、ハンターはウルフの方へ走って行く。

ウルフ「こっち来て見やがれ！」

ハンター「……？」

うまく撒いたようだ。

郡司「ウルフの確保情報が来ない！」

ネス「逃げ切ったんだ。良かった。」

残り960:00 逃走者143人

続く

ミッション2中編

ミッション終了まで残り10分。それまで郡司侑輝さんを守るしらさんとネス。ウルフはハンターから郡司さんを守るためにハンターをおびき寄せた。ハンターは撒いたものの、3人から離れてしまった。

ウルフ「俺の役目は終わりだ・・・。」

ウルフはこれ以上はミッションに参加しないようだ。

いも「どうしましょっ?」

いも2「どうかね?。」

謎のオリキャラ、いもといも2。しかしその命は短かった。

いも「ハンター!」

ハンター「!」

見つかった。

いもといも2、共に足は恐ろしいほど遅かった。

ポン! x 2

いも、いも2確保。残り141人。

ライブラリ「あはは、バカだね。」

あなたいましたっけ？

ライブラリ「ちょっと牢獄前にいるだけだけど何か？」

マリオ「何でもないってことにしとけよ。」

そういうことにして、別の人を見てみよう。

御剣「ハンターはいないか。」

逆転裁判でも冷静な性格の御剣伶侍。

御剣「ミッションはハイリスクだな。」

ミッションは行かないようだ。

芳川「これがデパート五分五分ね。」

デパート五分五分が進入可能ということで中に入る芳川桔梗。

それに続いてリユカと藤江が入ってきた。

藤江「デパートの中もそれなりにいいじゃん。」

サムス「ハンターがいる。」

バウンディングハンターがハンターを見つけた。幸いハンターは気づいていない。

サムス「早く動かなきゃ。」

どうにかなったようだ。

その頃、Dを探すスライマンさんは、ある逃走者に出会った。

スライマン「ねえ、ちょっと君。助けられないかなあ？」

ファルコ「何だ？誰だ？」

ファルコだ。

スライマン「何だ鳥かあー。」

ファルコ「何だよその言い方！助けないぞ！」

スライマン「ごめんなさい。助けてください。」

ファルコ「どうすれば良い訳？」

スライマン「YAMAD'S SHOPの総合店長のDっていう人に会いたいんだけど。」

ファルコ「しょうがねえ。案内してやるよ。」

ファルコがスライマンさんを案内する。しかしその先には……。

一方通行「あアン？」

アクセラレータ
一方通行だ。

ファルコ「頼む。この人をDのところへ案内してやるのについてきてくれ。1人じゃハンター来た時に不安なんだ。」

一方通行「わかったよオ。」

これにより、スライマンさんはファルコと一方通行の2人でDのところ案内するようだ。

しかし、いきなりハンター。

ファルコ「ハンター来た！」

ハンターが視界にとらえたのは……。

ファルコ「よりによってこっちか！」

ファルコだ。

ポン！

ファルコ確保、残り140人。

一方通行「アイツいきなり捕まってんじゃねエよ。どういつつもりなんだア？」

とか言いながらもスライムマンさんを案内する一方通行。

当麻「あんなやつがいたらさらに不幸になってしまっ。」

外辺久と別れた上条当麻。その近くにハンター。

当麻「うわっ、不幸だ……。」

美琴「なんだ、アンタか。」

ではなく御坂美琴だ。

当麻「なんでここまで来てビリビリに会わなきゃいけないんだよ！」

美琴「何その言い方！私には御坂美琴っていうちゃんとした名前があるの！」

当麻「じゃあな。」

美琴「ちょっと、待ちなさいよ！」

何か叫んでいるようですが気にしません。
ダッシュユダッシュ。

美琴「無視すんなってのー！」

ここには美琴アナタの出番イベントなんてありませんのことよ。

美琴「おい！ いくら何でもこの扱いはあんまりだとか思わないのーっ!?!」

繰り返しお伝えしますが気にしません。
ダッシュユダッシュ。

ミッション終了まで約20秒。

しら「ハンター来たよ！」

ネス「あと20秒……。なんとか耐えるよ！」

郡司「20秒逃げ切るぞー！」

郡司さん、そして五武山市の運命は!?!?

残り950：20。逃走者140人。

続く

ミッション2中編（後書き）

こんなところで亜空間爆弾が爆発したらヤバイっつーの。

ちなみにネスと一方通行の出番が多いのは好きなキャラクターだから。

まさかの事態（前書き）

ハンター大量放出。そしてあの人の確保！？

まさかの事態

ミッション終了まで残り20秒。しかし3人を追うハンター。逃げ切れるか!?

どンドンハンターとの距離は近くなっていく。もうだめかと思った次の瞬間だった。

ドン!

何かにぶつかった。

10035「3人も出てきて何してるのですか?とミサカは質問します。」

シスターズ
妹達の検体番号10035だ。

10035はハンターが来ていることに気づいていない。

10035「!?!」

ポン!

御坂妹10035確保。残り139人。

ミッション終了まで5秒

3

2

1

0

ミッション終了

郡司侑輝さんを守った。ミッション成功だ。

郡司「やった！」

ネス「良かった！」

牢獄では

全員「やった——！！！」

その頃、囹になったこいつも……。

ウルフ「どうにかなったじゃないか。」

みんなでミッション成功を祝った。

ただし、この男には祝う余裕などなかった。

一方通行「面倒だなア。」

一方通行だ。まだスライムマンさんを連れて歩いていて。一方通行のくせに。

そして、タブーはときますと。

タブー「またマスターハンドとスマブラメンバーに妨害されたー。」

ミッション成功はタブーにとっては作戦の失敗を意味する。

タブー「今度はこっちが向こうを妨害してやるんだ！」

そしてほーき雲達がいる管理室では。

ほーき雲「なんか機械の様子がおかしいですよ！」

ERROR!ERROR!

マスターハンド「なんだこれは……。」

アレイスター「何者かの妨害と思われる。」

ほーき雲「通信が入りました！」

マスターハンド「これはタブーからじゃないか！」

タブー「やあ、マスターハンド、また邪魔をしたな。」

マスターハンド「お前に協力する訳ないだろ！」

タブー「まあいい。おい、お前から知ってるか？今その空間には亜空間爆弾が仕掛けられているんだぜ。」

ほーき雲「なんだって！」

タブー「言うことを聞かなければ遠隔操作で爆発しちゃっよ。」

ほーき雲「おとなしく話を聞けって訳だね。」

タブー「それじゃ、15分以内に100体のハンターを放出しろ。さもないと……。」

マスターハンド「わかった。やむを得ない。」

タブー「放出させなかつたりしてみる。そしたらお前達は全員死ぬんだからな。」

そして、タブーとの通信は切れた。

機械も元に戻った。

さらに、ある物が管理室に運ばれた。

ほーき雲「これはDからだ！『亜空間阻止装置2』って書いてある。おっ！これを使えば20分後に亜空間爆弾の爆発を阻止できるぞ！」

マスターハンド「ほーき雲、亜空間爆弾を見つけたぞ！」

ほーき雲「よし、これでOK！現在残り945分か。ハンター100体放出は5分間だけで良さそうだ。」

プルルルル

メールだ。

『【通達1】残り930分から925分までの5分間、ハンターを100体放出する。気をつけたまえ。』

ゴドー「おいおい、それはヤバくないか？」

松代「5分間とは言え捕まるかもしれないぞ。」

裏切り者「通報なんてしてたら捕まるかも……。」

裏切り者も通報しにくくなった。裏切り者が通報すれば、ハンター

が通報された者の近くに来る。しかし、裏切り者と通報された者の距離は近い。よって、裏切り者とハンターの距離も近い訳だ。さらに、ハンターが100体放出された後は105体。裏切り者自身が逃げられない可能性が高いのだ。

スネ夫「……ってハンター100体放出前からハンター見つけちゃったよ！」

ハンターを見つけたスネ夫。

ハンター「……！」

見つけた。

スネ夫「離れないと……。」

スネ夫はその場を離れようとするが、見つけたことに気づいていない。

スネ夫「……ってうわっ！」

ポン！

骨川スネ夫確保、残り138人。

のび太「あっはっは、スネ夫捕まったよ。」

裏切り者「もつと通報したい！」

なかなか他の逃走者を見つけれない裏切り者。しかし、やっと3

人目の標的を見つけた。

裏切り者「おつ、あの人は募集の人・・・誰だっけな・・・。」

えっ、まさか？

しら「ミッション終わって楽になったと思いきや、今度はハンター100体かよ。捕まるかもなあ。」

いやいや、裏切り者に見つかってますよ！

しかし

裏切り者「本当にあいつ誰だ!？」

えっ、やっぱり名前出てこないの？

裏切り者「名前なんだ？」

必死で考える裏切り者。 ついに・・・。

裏切り者「そくだ！しらだ！」

やっと思い出した裏切り者。しかし……。

裏切り者「あれ？いねえ……。」

考えてる間にどっか行ったようです。

裏切り者「見つけた！」

そしてすぐ見つかったようです。

裏切り者「しら、五武山駅付近にいます。」

しかも、運悪く近くに1体ハンターがいた。

しら「えっ、ハンター！？」

逃げ出すしらさん。

しら「ヤバイ、これはヤバイって！」

ほーき雲「えっ！しらさんが裏切り者に通報されて追われてるぞ！」

管理側も気づいた。だからといって手が出せる訳がない。

ポン！

しらさん確保、残り137人。

ほーき雲「まあ大丈夫ですよ。95%の確率で復活ゲームありますから。」

あるに決まっています。たぶん……。

一方通行「ホラ、早くついて来いよ。お人好しじゃないンでねエ、置いてくからなア。」

スライマン「やっぱり一方通行アクセラレータだなあ。この人。」

だって一方通行アクセラレータだもん。ところでスライマンさん。一方通行知ってますか？一応知っているという設定になっていますが……。

そこに怪しい影……。

スライマン「わっ！プリム！」

プリムがスライマンさんに襲いかかってきた。

一方通行はすぐそれに気づき、自らの力『反射』を発動させた。

プリムは一方通行を殴ろうとした瞬間、『反射』を受け、自滅した。一方通行による案内でよかったと思う瞬間である。もしペコちゃんとかだったらどうしようと思ったよ……。

牢獄にて

ペコちゃん「ハクション！誰かウワサしてるのかな？」

ライブラリ「ペコちゃんがくしゃみとか似合わないよ。」

どつやらライブラリは牢獄前にいたいようだね。

ナミ「もうすぐハンター放出じゃん！」

実はハンター放出まであと10秒である。

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

ダダダダダダ・・・。

ハンター放出。これより5分間。ハンター105体となる。

残り時間930:00 逃走者137人

続く

まさかの事態（後書き）

次回は確保ラッシュです。

確保ラッシュと復活ゲーム（前書き）

管理側の物語、確保ラッシュ、復活ゲームの3本立てでお送りします。

確保ラッシュと復活ゲーム

ほーき雲「どーゆーことだい!!!」

ほーき雲がこんな状態になった理由はしらさんの確保。最初は認め
ていたが、後に考えを変えて現在に至る。

Q1・このあとほーき雲がとる行動は？

A・しらさんを確保したハンターを『破壊』。

B・しらさん無条件復活。

C・管理役を投げ出す。

D・この事はなかったことにして、残り932分あたりから再スタ
ート。

答えは下。とにかくだ。

まだまだ下。

シンキングタイム終了。結論から言えば答えはA。その経緯を見てもみましょう。

ほーき雲「デットエンド進入禁止さん。お願いします。」

デットエンド進入禁止「わかったぜ。このハンターだな。簡単な話だぜ。」

他力本願のほーき雲なのであった。しかし、これでハンターは104体となった。

ほーき雲「あれ？そういえばこれをやってもしらさんの利益になら

ないじゃん。」

今になって気づいたほーき雲。

ほーき雲「しばらく引きこもるね。」

マスターハンド「待て、ほーき雲。」

ほーき雲「どうしたの？」

マスターハンド「これはクロノス社からもらったものだ。『逃走中とは、意外性が大事である。意外なことが起こるからこそ、逃走中は楽しいんだ。想像もできないミッション。もっと逃げるであろう逃走者の確保……。誰も先のことを知らない。だから意外なことがたくさんある。それを楽しむのが逃走中だ。』俺達が逃走中を管理するにあたって、クロノス社からこんな名言をもらったんだ。しーさんの確保。それは1つの意外なことだ。人に予想されるなんてつまらないだろう？」

ほーき雲「……。」

マスターハンド「さあ、管理を続けようぜ。」

ほーき雲「そうですね。さらにマスターハンドがこんなことを言うなんて意外なことです。」

マスターハンド「なんだそれ！まるでいつもいいこと言わないってことか！」

アレイスター「そういえば私の出番少くないか？」

2人「それは気のせい。」

以下確保ラツシユの5分間です。

まず最初に見つかったのが……。

シェリー「やっぱ100体やべえー。」

シェリー「クロムウエルだ。」

ポン！

シェリー「クロムウエル確保、残り136人

キノピコ「きゃーー。」

ポン！

キノピコ確保、残り135人。

ソニック「見つかったよ！」

ソニックまでもが見つかった。

しかし逃げた先にスネーク。

スネーク「おい、ソニック！ハンター連れて来んなよ！」

ソニックは無視してスネークを抜いていく。

スネーク「うおおおお。」

ポン！

スネーク確保、残り134人。

赤ノコノコ「無理だよー。」

ポン！

赤ノコノコ確保、残り133人。

梓川雪乃「見つかる訳にはいかないよ！」

しかし、梓川雪乃の近くのハンターは別の逃走者を見つけた。

狩魔冥「えっ、ハンター！」

ポン！

狩魔冥確保、残り132人。

あやしいネコ「はい、もう捕まりますー！」

ポン！

あやしいネコ確保、残り131人。

由衣「あののつぺらぼう捕まった」

ポン！

物上由衣確保、残り130人。

由衣「そこにハンターいたの〜。」

クツパ「ハンター速っ！」

ポン！

クツパ確保、残り129人。

緑パタパタ「無理だ〜。」

ポン！

緑パタパタ確保、残り128人。

10

9

8

7

6

5

4

ポン！

3

2

1

0

さらにピット確保、残り127人。

ハンター100体消滅、しかし、デットエンド進入禁止が1体破壊したので、1体追加されてしまった。ハンターは5体。

ネス「あれ？時間止まったよ。」

さらに、時間が止まった。

その頃、牢獄には管理側の3人が現れた。

ほーき雲「これより、復活ゲームを始める。」

マスターハンド「このくじを引いて、色がついたくじを引いたら復活だよ。」

ほーき雲「あと、ファルコは無条件復活ね。」

ファルコ「やった!」

全員「えー。」

ファルコ「もしかしてあの マークの力かな?」

ほーき雲「その通り!ファルコはオープニングゲームのくじ引きでマークを引いたよね?それは復活ゲームでの無条件復活を意味していたんだよ。」

アレイスター「他のやつはさっさとくじを引きな!」

みんなくじを引いた。

しら「赤だ!」

緑パタパタ「青!やった!」

成歩堂「緑だね。」

マリオ「黄色!?!これで復活できるの!?!」

ほーき雲「しらさん、緑パタパタ、成歩堂龍一、マリオ、ファルコ復活ね。そしてファルコ、赤、青、緑、黄色の中から1つ選んで。」

ファルコ「じゃあ黄色。」

マスターハンド「じゃあ5人は逃げていいよ。」

5人「やった〜。」

残り時間 9 2 5 : 0 0 逃走者 1 3 2 人

続く

確保ラッシュと復活ゲーム（後書き）

黄色が怪しい、マリオが危ない。

アレキスター「やっぱり出番少くないか!？」

それは気のせい。

ゲーム再スタート（前書き）

ゲーム再スタートの前に。

ゲーム再スタート

タブー「おい、なんでハンター消滅させてんだよ！ふざけんな！亜空間爆弾爆発させるぞ！」

タブーは亜空間爆弾を爆発させようとしたが、亜空間阻止装置2を使ったため、爆発しなかった。

タブー「はかったな！」

そして管理室。

マスターハンド「あっはっは、タブーが困ってるぜ」

ほーき雲「いい気味だぜ。」

ゲーム再スタート

残り時間925:00 逃走者132人。

ここで裏切り者に関するヒントをあげます。

裏切り者はしらさんの名前を思い出すのに時間がかかっていました。つまり、スマブラメンバーではない可能性が高いのです。例えばとある魔術の禁書目録インデックスのキャラクターとかね。そしてその中で疑われているが……。

当麻「まさか一方通行が裏切り者？」

インデックス「あくせられーたならやりかねないね。」

一方通行「もうすぐ着くぞ。」

スライムマンさんを案内中の一方通行だ。アクセラレータ彼はまだスライムマンさんを案内している。よって、裏切り者ではない。

一方通行「ホラ、ここじゃねエのか。」

スライムマン「ありがとう！」

D「よく来たね。スライムマン君。君は学園都市店の店長として頑張ってもらうからね。」

スライムマン「お願いします！」

D「そうそう、君。スライムマン君を案内してくれてありがとう。これを持っていくといいよ。」

一方通行に渡されたのは網。これで一時的にハンターを止めることができる。

一方通行「いいアイテムじゃねエか。」

リュカ「一方通行良いな。」

偶然それを見ていたリュカ、あることを思い付く。

リュカ「そうだ！一方通行についていこう。そうすれば僕がハンターに追われても止めてくれるだろう。」

意外と知恵を働かせるリュカ。

ロビン「いろんなのがあるのね。」

エリアを見渡すロビン。

ポン！

ロビン確保、残り131人。

エリアの町並みばかり見ていてハンターに気づかなかったようだ。

続いて、先程復活したしらさんを見てみましょう。

しら「あれ？あなたは？」

雪乃「あら？しらくんじゃないの？」

しら「へ？」

雪乃「私は梓川雪乃よ。どうぞよろしく。」

しら「あっ、どうも。」

そう言うと梓川雪乃はどこかへ行ってしまった。

しら「なんかあのやさしいお姉さんの感じの人だけど……。」

そして雪乃に代わってアフロで筋肉ムキムキの松代健が現れた。

松代「おい、お前。さっき一緒に話していた女について教えてやる
うか。」

しら「えっ？」

松代「アイツはとんでもない悪女だ！」

しら「そんなはずない！だってあのやさしかった。」

松代「本当の悪女はな、敵の前では悪い所を見せないんだよ。」

裏切り者「いたいた。」

裏切り者に見つかったしらさんと松代健。

裏切り者「松代健、しら。長倉公園の近くにいます。」

しら「ハンターだ！」

ハンター「……！！！」

見つかった。

ハンターが視界にとらえたのは……。

松代「げっ、こっちか……。」

松代健だ。

松代「ヤバイ！ けっこう早いぞ！」

松代が見つかったのは1回目。少し見くびっていたようだ。

ポン！

松代健確保、残り130人。

しら「松代さん捕まった。本当にあの人悪い人なのかなあ？」

雪乃「ヒヤーツハツハツハ。あんなやつ騙しまくってボロボロにしてやるわあー。」

雪乃は悪いやつです。

雪乃「あの邪魔なアフロが捕まってくれたのは嬉しいけど、変なこと言いやがって。でも大丈夫よね。アツハツハ。」

絶対悪いやつです。

その頃、タブーのアジトでは。

天井「どうも、あまいあま天井亜雄です。」

タブー「お前がハンターにハッキングしてくれるんだな。」

天井「ハッキングなら任せてください。」

タブー「この検体番号10001〜13000までだ。頼むぞ。」

天井「あなたこそ、借金返済頼みますよ。」

管理室では。

マスターハンド「ほーき雲、ハンターネットワークって知ってるか？」

ほーき雲「ミサカネットワークみたいなものですか？」

マスターハンド「その通り、ハンターも妹達シスターズと同じように20000体クロンがいてな。それを全て1つの機械でコントロールしているんだ。これがハンターネットワークだ。ちなみに学園都市の技術供与を受けて作ったんだぞ。」

ちなみに今動いているのは検体番号1と3と5、そして127である。(検体番号2は進入禁止によって破壊された。その代わりが検体番号127である。)

ほーき雲「(・・・ということはハンターにもきつと・・・。)」

ほーき雲が想像してることは一体なんだろうか。

赤ピクミン「紫のやつ。1番に捕まりやがって・・・。」

実はピクミン全員で生き残ろうとピクミン達で決めたのだが、赤ピクミンは1番に捕まった。それを赤ピクミンは怒っているのである。赤ピクミン「紫許せない。」

フォックス「チツ、ハンターいたよ。」

フォックスの視界の先にハンター。しかし、フォックスは隠れているため、見つかっていない。

フォックス「……………」

じっと耐えるフォックス。

ハンター「（誰もいないか…………）」

そのまま通り過ぎて行った。

冠「ハンター来ませんね。」

ルフィ「なんだお前？」

冠「あなたも逃走者ですか？」

ルフィ「おう！」

冠「一応あつちにはハンターいないようですがそちらはどうですか

「？」

ルフィ「大丈夫だぞ。」

冠「それはよかった。今のところ安全なようですな。」

藤江「あれ？デパートのドアが開かない。」

芳川「おかしいわね……。」

デパート五分五分いんごうごの中にいる芳川桔梗とクロノス社支部の藤江。

そこへメールがやってきた。

藤江・芳川桔梗「えっ、そうなの？」

実は、このデパート五分五分はいざというときのための非常エリアだった。安全が確認されたため、ドアの鍵を開ける。10分以内にデパートを出なければ強制失格という内容だった。

藤江・芳川桔梗「それじゃあ出よう。」

2人ともデパート五分五分を出た。

ウソップ「うわっ。」

出た先にはウソップがいた。

藤江「ここはもう入れないぜ。」

ウソップ「えっ、そうなの？せっかく入ろうと思ってドア無理矢理開けるつもりだったのに。．．．ってハンターだ！」

藤江・芳川桔梗「ヤバイ！」

3人の運命は！？

残り時間 908 : 30 逃走者 130人

続く

ゲーム再スタート（後書き）

いろいろと感想待ってます。

MISSION 3 (前書き)

駅長やる気出せ!

MISSION 3

ウソップ「ハンターなんて………嘘だー!!」

ボコッ

藤江「ふざけんてめえ。」

そしてウソップは藤江にフルボッコにされました。めでたしめでたし。

芳川「あはははは。」

甘いだけで優しくない芳川桔梗。ただ笑っているだけであった。

まあ、結局ハンターは来てなかったということ、後は頑張ってる。

ステイル「今のところはミッションは無いからただ逃げていればいいということか。」

和馬「おい、神父のおっちゃん。」

ステイル「私は14歳。おっちゃんではない!」

和馬「ええー!!その体のデカさで俺より年下じゃと!。」

実はステイルは14歳なんです。

管理室

ほーき雲「HUNTER501」HUNTER600つと。マスター、新都市鉄道に連絡しといてくれる？」

マスターハンド「もうしておいた。車両の準備はできているって返事が来たぞ。南口の一時通行止めもできたって。」

とある駅からハンター100体に乗せた電車が走り出した。

ほーき雲「タブー関係なしにミッションできるってやっぱり良いね。じゃあマスター、頑張って。」

マスターハンドは管理室を出ていった。しかし、本当にタブー無しでミッションができるのだろうか。

プルルルル

メールだ。

「【MISSION3】五武山駅に向かって100体のハンターを乗せた電車が動き出した。残り870分になると電車が到着し、100体のハンターが放出される。阻止するには駅員を呼んで五武山駅南口のシャッターを閉めてもらったあと、誰かがマスターハンドのところへ向かい、鍵をもらって、シャッターの鍵を閉めるしかない。なお、自分でシャッター閉めたら失格になるからね。」

残り時間 905:00 ハンター放出まで35分。

千田ビルという建物がエリア内にある。15階建ての一般的な都会のビルのような外観のビルである。この千田ビルにて、やっぱりヤツは現れた。

タブー「よし、これでOK。ただ、まだ動かすのはつまらない。持つ少ししてからにしよう。それよりも……。」

やはり、タブーが関わらないということはある得ないのだろうか。

ネス「シャッター閉めに行こうかな。まあ正しくは閉めてもらいに行くんだけど。」

ゲームウォッチ「みつしょんイキマス。カギモライニイキマシヨウ。」

このミッションはシャッターを閉めてもらいに行く人と、その後鍵を閉める人が必要だ。

神裂「そういえばマスターハンドとやらはどこにいるのでしょうか？」

それはわからない。だからこのミッションは難しいのだ。

スネーク「マスターは自分で探せということだな。」

ただし、もしかするとマスターハンドの居場所を知っている人に出会えるかもしれないので、それはいいチャンスである。つまり、この男は先に駅に行く役ということだ。

当麻「駅行こう。」

そう、不幸体質の上条当麻だ。彼が探してもマスターは見つかりにくい。よって先に駅に行った方が良いのだ。ちなみに、それはもう1人の不幸体質についても同じことが言える。

久「ミッションはパス！」

外辺久だ。しかし、彼はミッションに行かないようだ。

????「駅着いちゃった！」

えっ?もう着いたの?

稲穂「こんな移動さつさとしちゃうんだよ!」

東和馬の姉の東稲穂だ。

稲穂「すみません!駅員さん、南口のシャッターを閉めてください。」

駅員が1人顔を出した。

駅員「駅長の許可がないと閉められないんです。駅長にそう言われたもので。」

稲穂「駅長さんはどこにいるんですか？」

駅員「たぶんこの近くにいると思いますが……。」

稲穂「わかりました！探して来ます！」

駅長を探しに行った東稲穂。つーか駅長のくせに何やってんだよ。

その頃の駅長。

駅長「やってらんねーよ仕事なんて。」

ひどい駅長だ。

しかし、その駅長のもとに誰かが現れた。

しら「駅長さん？」

実はこの駅長、制服のままうろづろしていた。

しら「五武山駅のシャッターを閉めてもらいたいんですが。」

駅長「やる気無いからやだ！」

しら「しょうがない。他の駅員に閉めてもらおう。」

しかし、駅員に言っても駅長が許可出さないから無理って言われるだけだが……。

稲穂「駅長さんどこ？」

駅長を探してもクリアはできない。

その頃、YAMAD'S SHOP本店では、新オープンの学園都市店の店長のスライマンさんとDが話していた。

D「僕が作ったオリジナルドリンクどう？新商品にする予定なんだ。」

スライマン「甘い+すっぱい+苦いってところですかね。」

どんな味だよ！？

D「これは元々作っていたんだけど、ある知り合いが気に入っちゃって。会うたびに飲みたいって言うてくるんだ。」

スライマン「これ変わってますがおいしいんですよ。」

D「学園都市には変わった飲み物（ヤシの実サイダーとか）が多いから売れると思うんだよね。」

スライマン「きっと売れますよ。」

稲穂「駅長さん。ってきやあ！」

ハンター「……!!」

東稲穂がハンターに見つかった。

稲穂「ヤバイヤバイ！」

しかし、ハンターとの距離は近くなっていく……。

ポン！

東稲穂確保、残り129人。

和馬「姉ちゃん捕まったか……。」

残り時間900:00 逃走者129人

続く

MISSION 3 (後書き)

駅長のやる気を取り戻す方法とは!?

MISSION3その2(前書き)

厄介なミッションだなあ。

MISSION3その2

駅員のもとに上条当麻が現れた。

当麻「駅員さん。南口のシャッターを閉めてください。」

駅員「それがね、駅長の許可が無いと閉められないんだよ。」

当麻「駅長探すのかよ。」

インデックス「あ、とうまだ。」

当麻「インデックス!？」

インデックス「今すぐシャッター閉めてほしいかも。」

当麻「インデックス、それが無理らしいんだよ。駅長がいないから閉められないんだってさ。」

インデックス「じゃあ探しに行こう。駅長さん探してミッションクリアしよう!」

当麻「おう!行くぞ!」

こうして、上条当麻とインデックスは五武山駅を後にした。

一方その頃、マスターハンドを探している逃走者は……。

ゲームウォッチ「ますたードコダ？」

神裂「マスターハンド・・・出てきなさい。鍵を求めているのです。」

しかし、マスターは現れない。

その頃、マスターは・・・。

マスターハンド「わざわざ外に出たくない。管理室にずっといる。」

ほーき雲「マスターが行かないとミッションにならないじゃん。しようがない。代わりに僕が行くよ。」

マスターハンドの代わりにほーき雲が行くようだ。

マスターハンド「鍵は渡さないからね。」

ほーき雲「なんでだよ・・・。」

馬三郎「わしは足が遅いから逃げ切りは無理かのう。」

真宵「それはわかりませんよ。だってそれでも100分以上逃げているじゃないですか。」

しかし、その近くにハンター。

真宵「しかもなるほどくんみたいに復活できるかもしれませんよ。」

馬三郎「ハンター！」

ハンター「・・・！！！」

見つかった。

綾里真宵は意外と速く走る。

それにより東馬三郎は狙われる。

馬三郎「ひえー。」

ポン！

東馬三郎確保、残り128人。

馬三郎「やっぱりじいさんには無理なんじゃ・・・。」

スネーク「どこにいるんだマスター！」

マスター「ハンドはわがままなのでエリアにはいません。」

ジャイアン「どこだマスター、出てこい！出ないとぶん殴るぞ！」

そう言われても・・・。

成歩堂「どこだよマスターハンドは。」

ほーき雲「あれ？成歩堂君じゃないか。」

成歩堂「あなたは作者だよね？マスターハンドの居場所わかりますか？」

ほーき雲「マスターはエリアにはいません。」

成歩堂「それじゃあどうやってミッションやるんだよ！」

ほーき雲「しょうがない。僕についてきて。マスターのところに案内するよ。」

成歩堂「そうするしかないか・・・。」

これより、成歩堂龍一は少しだけゲームを外れる。

一方、駅長搜索サイド。

????「いた！駅長だ！」

誰かが駅長を見つけた。

駅長「なんだ君は！？そのやたら派手なシスター服は何なんだ！？」

インデックス「五武山駅の南口のシャッターを閉めてほしいかも。」

駅長を見つけたのはインデックスだ。

駅長「駅のシャッター？やる気が無いからやだ！」

いつもと同じ反応である。

インデックス「えええーっ！それじゃあどうやって閉めるの！？」

駅長「いちいち閉めなくて良いじゃん。」

インデックス「閉めなきゃいけないんだよ。ミッションだもん。」

そして五武山駅は……。

しら「（あの駅長ひどいやつだったなあ。（すみませーん。南口のシャッターを閉めてくださーい。」

駅員「駅長の許可が無いと無理なんだよ。」

しら「は！？あの駅長やる気が無いからやだって言うんだもん。」

駅員「駅長のやる気が無いか……。それなら1ついい方法があるんだけど、YAMADA'S SHOPのDって知ってる？」

しら「Dがどうしたの？」

駅員「そのDが作る特製ドリンクを飲むと駅長はやる気が出るんだ。」

しら「ナイス情報ありがとう！よし、一斉メールだ！」

全員にしらさんからメールが届く。

「【駅長について】五武山駅の駅長は現在やる気が無いのでシャッターを閉めてくれません。駅長のやる気を出すにはDのところへ行つて特製ドリンクを作ってもらってください。」

そして、現在運良くYAMAD・S SHOP本店の目の前にいる逃走者がいた。

藤田「Dがいるのってここだよね。」

クロノス社支部、藤田だ。

藤田「すみません、Dさんいますか？」

D「僕がDだよ。」

藤田「あなたの特製ドリンクを作ってほしいんですけど。いいですか？」

D「いいよ。でもよく特製ドリンクのこと知ってたね。」

藤田「ええ、五武山駅の駅長のやる気を出すのに必要だということだ。」

D「はいはい、あの駅長ね。彼に持っていくの？」

藤田「はいそうです！」

D「そんなじゃ、ちょっと待っててね。」

Dは先程スライムマンさんにあげた分の残りをペットボトルに入れていた。

D「ほら、これでいいかな？あと、これ。君も一口飲んでみて。」

藤田「・・・甘い+すっぱい+苦いって感じ。」

だからそれどんな味だよ!?

D「じゃあ、行っておいで。」

藤田「はい!いつてきます!」

これから藤田は駅長を探しに行き、特製ドリンクを飲ませ、駅に連れて行ってシャッターを閉めてもらった後、鍵を閉めればミッション成功だ。

そして成歩堂龍一は。

成歩堂「お邪魔します。」

ほーき雲「マスター、頼むから鍵くれよ。これじゃあミッションにならないよ。」

マスターハンド「わかったよ。ほら、持っていきな。ちゃんと返さないで失格にするからな!」

成歩堂「(マジかよ。。。)(ありがとございませす。)」

成歩堂龍一、鍵獲得。

ほーき雲「そんじゃあ、送って行くね。」

成歩堂「絶対ミッションクリアしてやる……。」

ミッションクリアできるか!?

残り時間 883:00 逃走者 128人

続く

MISSION3その2(後書き)

がんばれ藤田と成歩堂!

MISSION3その3(前書き)

テスト期間中のなのになんとか空き時間使って更新!

MISSION 3 その3

藤田「駅長どこだよ……。」

駅長の居場所がわからない。しかし、見つけられなければ100体のハンターが放出される。

成歩堂「まっすぐ五武山駅へ！」

一方、成歩堂は自分の行くべき場所を知っているため、そこへひたすら走る。

マリオ「あの復活ゲームが気になる。」

あのととき、黄色のくじを引いて復活したマリオ。しかし、無条件復活したファルコが黄色を選んだ。よって、マリオはこの先自分に何かあるのではないかと思っている。

マリオ「何が起ころのかわからないや。」

わかったらすごいだろう。

そしてまたタブーが現れた。

タブー「そろそろいくか。ハンターなんと3000体放出だ！」

3000体とか洒落にならないんですけど。

しかし、管理側も対策をとっていない訳ではなかった。

ほーき雲「タブーは気づいていないんでしょうか？」

マスターハンド「たぶんな。逃走者1人を囿として失格にすることで、ハンター3000体を消すことなんてあいつにわかる訳ない。」

ほーき雲「さすがにこうするしかありませんからね。」

マスターハンド「いつでも準備はできている。大丈夫だろう。」

117

D「それじゃあ、そろそろ学園都市へ行って、着いたらすぐ開店でいいから。」

スライムマン「はい！」

裏切り者「けっこう裏切り者の出番少ないな……。長倉公園の近くって全然逃走者来ないじゃん。」

出番の少なさに悩む裏切り者の近くに逃走者が現れた。

フランキー「ハンター100体出たら終わるね。」

フランキーと

のび太「逃げ切れればしずかちゃんにモテるかも！」

のび太だ。

裏切り者「フランキー、のび太。長倉公園の近くにいます。」

近くにいた1体のハンターが走り出した。

フランキー「ハンターだ！」

フランキーはハンターに気づいて走り出す。しかし、のび太はハンターに気づいていない。

ポン！

のび太確保、残り127人。

のび太の野望は終わりました。だってのび太だもん。

裏切り者「これでどんどん金がたまっていく〜」

有頂天な裏切り者だった。

藤田「くそっ！駅長はどこをうろつろしているんだ!？」

駅長を見つけるのはけっこう難しい。

インデックス「もしかしてこれから駅長のところへ行くのかな？」

しかし、そこにさっき駅長を見つけたインデックスが現れた。

藤田「もしかして場所知ってるの？」

インデックス「ついさっきあっちの方で駅長に会った。」

藤田「ありがとう！」

いい情報を手に入れた藤田。

成歩堂「急がないと・・・ヤバイ！」

ただ走り続ける成歩堂。

2人ともクリアしなければハンター放出となる。

藤田「あれ？駅長じゃない？なんかそれっぽいよ。」

駅長「やる気だね。」

藤田が見つけたのは確かに駅長だった。

藤田「五武山駅の駅長さんですか？」

駅長「確かにそうだけど？」

藤田「これ飲むとやる気出ますよ。」

駅長「おっ！それはDの特製ドリンクじゃないか！やっぱりこれやる気出るよな。」

藤田「そこで1つお願いがあります。五武山駅南口のシャッターを閉めてください。」

駅長「わかった。閉めに行こう！」

やっと駅長がやる気を取り戻した。

駅長「うおおおおー！！！」

藤田「駅長速っ！これならついて行かなくて大丈夫かな。」

藤田はこれ以上動かない。あとは駅長と成歩堂の到着のみだ。

成歩堂「意外にもあと3分しかない！」

成歩堂と五武山駅南口間の距離はおよそ350m。

成歩堂「急がないとヤバイ！」

間に合うのか！？

そして管理室では。

ほーき雲「一応いざという時のために学園都市を緊急逃走エリアにすることが決まったよ。」

マスターハンド「もしこのエリアで何かあったらすぐ新エリア移動のミッションを発動できるんだな。」

ほーき雲「実際いろいろ起きているんだけどね、まだ継続できる段階から緊急のための対策をとっておくんだよ。」

マスターハンド「囿逃走者もその1つって訳だな。」

ほーき雲「そういうことだね。」

タブー「あと数分後に3000体放出だ！」

ハンターを3000体放出させるつもりタブーと100体放出のミッション。こんなことしたらハンター3105体になっちゃうじゃないか！

残り時間 873:00 逃走者 127人

続く

MISSION3その3(後書き)

本当にハンター3105体になつたら秒殺なんだろうな。

MISSTION3終了(前書き)

『やっ』が出てきますよ。今まで一切出てきませんでしたが。

MISSION 3 終了

駅員「駅長！戻れましたか。」

駅長「うおおおおー！！！！！」

すごい勢いで駅長が戻って来た。

駅長「すぐシャッターを閉めるぞ！」

駅員「はい！」

ガシャン！

駅のシャッターは閉められた。しかし、鍵を閉めなければ放出されたハンターに開けられてしまう。

駅長「あとは鍵があれば南口の封鎖は完了だ。」

成歩堂「あともう少しだ！」

急げ、あと40秒しかないぞ！

成歩堂「なんとか・・・間に合った！」

駅長「おっ、鍵じゃないか。これがあれば南口の封鎖は完了だ！」

ガチャ

ミッションクリア

しかし、これだけでは終わらない。

タブー「さあ、3000体放出するぞ！」

タブーによって3000体のハンターが放出された。

ほーき雲「させないぞ！」

マスターハンド「囃逃走者装置起動！」

パッ

3000体のハンターは消滅した。

タブー「何！？せっかく放出した3000体のハンターが消えた！？」

ほーき雲「やったね。」

プルルルルル

メールだ。

「タブーが3000体のハンターを放出させようとした。しかし、囃逃走者装置によりマリオが失格となり、ハンターは消滅した。残

り逃走者126人。さらに藤田と成歩堂龍一の活躍によりミッシェンクリア。』

ステイル「ふう、危なかったね。」

河内「ハンター100体阻止できてよかったがな。」

マリオ「ちょっと待て！なんで失格なんだよ！」

復活ゲームの時の『あれ』は 囷逃走者装置の囷を決めるものだった。

ファルコ「つまり俺がマリオを失格にしたという認識でいいんだな。まあ、それでもいいか。マリオだもんな。」

僕の小説ではルイーダの方がマリオより扱い良いです。

当麻「この超不幸さんはいつ捕まるのかな？せめて『もう一人の不幸さん』よりは長く逃げたいな。」

その近くに『もう一人の不幸さん』が現れた。

久「あいつとは違う。ただの不幸じゃ終われない！」

そして近くにハンター（やっぱり）。

ハンター「（見つけましたよ不幸野郎！！）」

見つけたのは。

当麻「ははは、不幸だよ。ってヤベエ!!」

上条当麻だ。

当麻「わー！もう捕まるー！」

ポン！

上条当麻確保 残り125人

久「やーい、上条当麻確保だー。これで俺は不幸勝負に勝ったんだ！・・・って見つかった！」

ハンター「（また見つけちゃった。僕って幸運）」

久「すぐ離れとけばよかったよ。これじゃ捕まるって！」

ポン！

外辺久確保 残り124人

インデックス「不幸コンビ捕まったね。」

レアライトロード「ね〜。」

小萌「上条ちゃん・・・。」

タブー「おい！どういうつもりだ！ハツキングしたハンター達みんな消えたじゃないか！借金返してやらないぞ！」

天井「わかりました。20000体のハンターは全てミサカネットワークと同じシステムで管理しています。つまり、ハンターにも『ラストオーダー制御個体』がいるはずですよ。そいつを使えば全ハンターを暴走させられます。」

タブー「今度こそ成功しろよ。」

天井「わかってますよ。」

????「これからハンター20001を探してきます。」

天井「まあ待て、いいアイディアがある。」

.....

????「では、いつてきます。」

その少し後、管理室では『やつ』が姿を現したところだった。

ほーき雲「あれ？クレイジーじゃないか。」

クレイジーハンド「やっと出番だ。」

マスターハンド「おお、クレイジーじゃないか。」

クレイジーハンド「ハンターにラストオーダー制御個体がいるのは知ってるか？」

ほーき雲「それがどうしたの？」

クレイジーハンド「そのラストオーダーを利用したミッションを發動したい。」

マスターハンド「いいよ。」

ほーき雲「計画に乗つとると、もう君は外へ出た方がいいね。準備は僕達でやつとくよ。」

クレイジーハンド「それじゃあね！」

ドナルド「ドナルドは逃走中に出るとついやっちゃうんだ。」

はいはい、あれですね。

ドナルド「ランランル・・・」

ポン！

ドナルド・マクドナルド確保 残り123人

ランランルーもいいけどハンターには気を付けましょう。

赤ピクミン「やあ、白。そっちハンター来てない？」

白ピクミン「大丈夫だよ。」

赤ピクミン「紫についてどう思っつ？」

白ピクミン「まあデブだからね。1番に捕まってもおかしくないなとは思ってたけど、でもやっぱり1番ってのはな……。」

赤ピクミン「ピクミン全員逃走成功作戦で最も心配だったのは見るからに足遅そうなお紫がさつさと捕まることだったんだけどね。でもさすがに1番はね……。」

白ピクミン「しかもハズレの鎖を引いてないときたもんだ。やっぱりあいつは遅いんだな。」

赤ピクミン「作戦変更！」紫以外のピクミン全員逃走成功作戦』だ
「！」

白ピクミン「青と黄色にも連絡しよう！」

青ピクミン「なんだ？白からメール？」

『【青と黄色へ】これより、『紫以外のピクミン全員逃走成功作戦』を開始する。絶対に捕まらないように。白ピクミンより。』

黄ピクミン「はっ、聞こえちゃった？」

紫ピクミン「丸聞こえだよ！あの白ピクミンのことだからな。』どうせ紫はデブだから逃げ切れないだろう。』とでも思ってたんだろ
うな！」

なんでわかるんでしょうか？

黄ピクミン「ちょっと待って。赤からまたメール来た。」

『【追記】この計画はデブには知らせないでね。赤より。』

たまたま牢獄前で紫ピクミンと話していた黄ピクミン。完全に紫ピクミンは作戦の全てを聞いてしまった。

紫ピクミン「赤と白後で殺す！」

黄ピクミン「紫がヤバイことになってる。いったん離れよう。」

その頃、赤と白は。

赤ピクミン「大丈夫だよな？まさかと思うけど紫に知られたりしないよね？」

白ピクミン「考えられるのはたまたま黄色が牢獄の近くにいて紫に知られるパターンだな。そうやってなきやいいんだけど・・・。」

なんでわかるんですか!?

オリマー「ピクミン達仲良くしてるかなあ？」

全然仲良くしてません。

残り時間 863:00 逃走者 123人

続く

MISSION3終了(後書き)

果たしてピクミン全員(紫以外)逃走成功の夢は叶うのか!?

クレイジーハンド「おい!ミッションはどつした!?!」

一方通行（アクセラレータ）（前書き）

ミッション4は少し存在薄め。

一方通行（アクセラレータ）

クレイジーハンド「なんでまだミッション発動しないんだよ。」

ほーき雲「ちょっと待っててね。もう少しで発動するから。」

ブルルルルル

メールだ。

『【MISSION4】エリア内のどこかにハンター200001号、通称『ラストオーダー』がいる。このハンターは他のハンターと違って年齢は10歳くらいだ。このハンター200001号を連れてエリア内のどこかにいるクレイジーハンドのところへ行けば、クレイジーから逃走に役立つアイテムをもらえる。なお、このミッションには時間制限はない。』

一方通行「行ってみるかア。」

ちなみに一方通行はすでにDから網をもらっているが、それじゃ足りないというのか。

さらに通達まできた。

『【通達2】これより、裏切り者をもう1人募集する。裏切り者になるなら、今から3分以内に電話せよ。』

????「はい！裏切り者になります！」

ガノンドロフ「なに！また先を越されただと!？」

裏切り者になりたいのになれないガノンドロフ。

以上のようなことになったので、最初の裏切り者を『裏切り者A』、今回の裏切り者を『裏切り者B』とします。

リュカ「裏切り者2人なんて無理だよ。」

リュカが言葉を発した途端、一方通行がそれに気づいた。一方通行が網を手に入れてからずっとリュカはついてきたのだ。

一方通行「どオした？お前。」

リュカ「裏切り者2人って無理だって。」

一方通行「それがどオしたっつってんだよ！」

リュカ「え？」

一方通行「裏切り者2人がなんだ！たとえどうなるうとも俺達はただ逃げ切りあるのみだろオが！」

一方通行は思い出していた。自分に『最強の力』が宿っていること

に気づいた日。そして『学園都市最強の超能力者（レベル5）』になった日。特別クラスに入り、隔離されてきた日々。そこにやってきた『絶対能力実験（レベル6シフト）計画』。10031人もの人を殺してきた。10032人目を殺す日。そこに現れた無能力者（レベル0）の少年。一方通行は彼に負け、実験は凍結した。

その後、一方通行はある少女に出会った。彼女に『本当は実験なんてやりたくなかった』『自分を止めてくれる人を求めていた』と悟られる一方通行。そんな少女は命の危機にさらされる。一方通行は銃で撃たれたものの、彼女を助けた。

彼等は両方この逃走中に参加している（1人は捕まったが）。きつと2人共同じことを考えていただろう。

リュカは気づかされた。なぜ一方通行について行ったのか。網を持っていて一方通行の近くにいれば安全だと思っただからだ。このようにして、リュカも逃げ切りを目指す。足はあまり速くない代わりに自分の頭を使っていいアイデアを考えながらここまで逃げてきた。リュカ「ありがとう。元気出たよ。」

打ち止め「一方通行が良いこと言っているところ見ちゃった。ってミサカはミサカは一方通行の本性を知ってみたり。」

一方通行「なんでデメエに会わなきゃいけねエンだアー!!」

打ち止め「まだあの時何て言ったのか覚えてるよ。ってミサカはミサカは自慢してみたり。」

リュカ「聞きたい!」

打ち止め「確かに俺は1万人もの妹達をぶつ殺した。だからってな、残り1万人を見殺しにして良いはずがねエンだ。ああ綺麗事だ

つてのは分かっている、今さらどの口が言うんだってのは自分でも分かってる！でも違うんだよ！たとえ俺達がどれほどのクズでも、どんな理由を並べても、それでこのガキが殺されても良い理由になんかならねエだろオがよ！』・・・じーん、ってミサカはミサカは思出し泣きしてみる。」

一方通行「こ、殺す！このガキぶつ殺す・・・ツ！！」

打ち止め「おお怖い怖いってミサカはミサカは怯えてみたり。」

しかし、3人の近くにハンター。

リュカ「ハンター来たよ！！！！」

ハンター「（ふーん、リュカと一方通行と打ち止めかあ）」

しかし、ここで一方通行の出番である。

一方通行「ほら！！」

バツ！

ハンター「（そんな・・・網だと！）」

一方通行の網によって、ハンターは網から抜け出すまで停止する。

リュカ「よし、さっさと逃げよう！（もう一方通行と一緒にいる必要はないな・・・。）」

あっさり一方通行を捨てて逃げるリュカ。網を持っていなければ役

に立たないというのだろうか。

網にかかったハンターの近くには……。

デデデ「うわあ、ハンター……と思ったら網にかかってるゾイ。」

その時、ハンターが網から抜け出した！

デデデ「復活しやがった！」

ポン！

デデデ確保 残り122人

そうそう、ミッション忘れかけてました。(殴)

ネス「アイテム欲しい！」

キョロちゃん「ちょっと行ってみるクエツ。」

赤ピクミン「ピクミン全員(紫以外)逃走成功するんだもんな。アイテムがあると心強い。」

ミッションに行くのは一方通行、ネス、キョロちゃん、赤ピクミンの4人。

管理室

ほーき雲「あのバカは僕が気づかないとでも思ったのかな？」

マスターハンド「あんな姿で気づかない方がおかしいっつーの。」

ほーき雲「あとは気づかれずにどうやって対処するかだな。あの時はミッション発動するしかなかったけど、この先どうしようか……」

ネス「何のヒントもなしに探せと言われてもね……。」

キヨロちゃん「手がかりが何もないクエツ。」

赤ピクミン「ハンターのラストオーダーってどこなのお!？」

そもそもこのエリアの広さは東京ドーム50個分。手がかりも一切無いので簡単には見つけられない。

裏切り者B「せっかく裏切り者になったことだし通報しよう!」

裏切り者Bが見つけたのは……。

ファイアブロス「何もしてないよ。でもやっぱり何もしたくない

よ〜。」

やる気喪失状態（駅長と同じ）のファイアブロスと。

ナミ「ただいるだけでお金が貯まるって最高」

金に目がくらむナミだ。

裏切り者B「ファイアブロス、ナミ。ベストストアーストリートにいます。」

補足：ベストストアーストリートとは最高の店がたくさん並んでいる五武山市内でかなり有名な商店街である。

ハンターが1体、通報された2人に接近！ハンターが視界にとらえたのは。

ファイアブロス「うわあ、ハンターかよ！」

ファイアブロスだ。

そもそも見つかった時の距離が短かった。それはかなり問題であり・

ポン！

ファイアブロス確保 残り121人

裏切り者B「よし！捕まった。これで10万獲得」

裏切り者A「あれは・・・？」

なんと、ここでまさかの事態が発生。裏切り者Bが裏切り者Aに見つかった。

裏切り者A「ディディーコング、ベストストアーストリートにいます。」

裏切り者Bはディディーコングだそうです。

先程ファイアブロスを確保したハンターがディディーコングの方へ走り出す。

ディディーコング「誰を通報しようかな。・・・ってヤバッ！」

ポン！

ディディーコング確保 残り120人

裏切り者BのBは秒殺のB。

Byousatsu

裏切り者A「・・・ってあいつ裏切り者Bだったんだな！まあ裏切り者は1人で十分か。」

裏切り者Aの正体はまだ不明なこと。

D「みんなミッションの手がかりが無くて困ってるようだね。僕が手がかりを用意するか！」

ほーき雲「Dがアイテムを用意し始めたか。確かに手がかり全く無しじゃ難しいよな。それじゃ、このことをメールしよう。」

ブルルルルル

メールだ。

『【通達3】これより、YAMADAS SHOP本店でGPSを配布中だ。このGPSは2種類あり、1つはハンター20001号の現在地を知らせるGPS。そしてもう1つはクレイジーハンドの現在地を知らせるGPSだ。また、このGPSは1人1つしかもらえない。』

ネス「GPSもらいに行こう。手がかりがあつた方が良い。」

赤ピクミン「行く。」

キョロちゃん「GPS欲しいクエツ。」

一方通行「もらうに決まってるだろオが。」

ミッション参加者は全員GPSをもらいに行くようだ。

カービィ「ミッション行かないからいらない！」

当然といえば当然なのだが、ミッションに行かない逃走者はGPSをもらいに行かない。挙げ句の果てにはこんなやつまでいた。

インデックス「GPSって何それ？おいしいの？やっぱり欲しいのは食べ物だよな。」

GPSを知らない空腹少女インデックス。彼女は魔術サイドのため、100%科学の道具であるGPSを知らないのだ。さらに大食いのため、知らない言葉を聞くと食べ物だと思っことが多いのだ。

いろいろありますが逃走者のみなさん頑張ってください。

残り時間857:00 逃走者120人

続く

一方通行（アクセラレータ）（後書き）

感想待っています。

ハンター20001号(前書き)

やっぱりミッション4は復活ゲームのせいで存在感が・・・。

ハンター20001号

クレイジーハンドは現在長倉公園にいた。

クレイジーハンド「ここで休んでよう。」

ベンチでくつろいでいた。

キヨロちゃん「YAMADA'S SHOPだクエツ！」

D「君が1着だよ。どっちのGPSにするの？」

キヨロちゃん「それじゃあハンター20001号のGPSにするクエツ。」

D「ほら、これだよ。」

キヨロちゃん、ハンター20001号用GPS獲得。

続いて別の逃走者もやって来た。

赤ピクミン「クレイジーハンド用のGPSをください！」

D「これだよ。」

赤ピクミン「どうも！」

キヨロちゃん「すでにクレイジーハンドは長倉公園で休んでいるっ

て知ってるクエツ。」

クレイジーハンド「動きたくねえ。」

クレイジーハンド、絶賛やる気喪失中。要するに駅長と同じ。

一方通行「GPSもらおうかア。」

D「どつするの?。」

一方通行「ソんじゃあハンター200001号用で。」

D「ほらよ!。」

一方通行、GPS獲得。

赤ピクミン「クレイジーは長倉公園の辺りか。あとはハンター20001号を探せばいいんだね。」

キヨロちゃん「ハンター200001号はデパート五分五分の近くだね。そしたら長倉公園でクレイジーに会うだけだね。」

両方の居場所を知っているのはキヨロちゃんのみ。

キヨロちゃん「おつ、長倉公園の方に移動したクエツ。ラッキー。」

「一方通行「長倉公園かア。」

ネス「GPSください!」

D「どうするの?」

ネス「ハンター20001号用で!」

D「ほらハンター20001号用!あと、これ持って行きな。君はこの逃走中で何回もここに来ているからね。」

ネス「何このスイッチみたいなの?」

D「スイッチみたいなのというかスイッチだよ。もしハンターに追われたら捕まる直前に押しな。いざというときの対策さ。」

ネス、ハンター20001号用GPSと怪しいスイッチ獲得。

ネス「どうするんだろうな・・・。」

実はネスがもらったスイッチは、超便利なんです。その便利さは他の作者さんの作品で立証済です。

その時、牢獄では。

当麻「あつ、ほーき雲だ！」

ほーき雲「やあ、確保されたみなさん。ちよつとの間、ここにいさせてね。」

その瞬間

プルルルルル

メールだ。

『【通達3】これより、エリアに60体のハンターRGを放出する。ハンターRGは逃走者を確保したりしない。ちよつとした準備だ。気にする必要はない。』

ほーき雲「ここで牢獄のみなさんにお知らせです。これより復活ゲーム2を始めます！」

牢獄の人達「イエエエイ!!!」

ほーき雲「ルールはゲームがスタートしてから30分逃げ切るだけ。それだけで復活できるよ。」

牢獄の人達「30分逃げ切るだけ!?これはチャンスだ！」

ほーき雲「ただし!君達を追うのは普通のハンターじゃない。先程放出したハンターRGだ。」

RGとはREVIVAL GAMEのことだった。

ほーき雲「ねえ、上条当麻。」

当麻「何だ？」

ほーき雲「この復活ゲーム中にあることをしてほしいんだけど。．．
．．こんなことなんだけど。」

当麻「なんだ、たったそれだけか。いいぞ。」

ほーき雲「そろそろだね．．．始めるよ!」

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

復活ゲームスタート

確保者

紫ピクミン、梓川水乃、デイジー、アウレオルス「イザード、ペコちゃん、いも、いも2、妹達10035、骨川スネ夫、シエリー」
クロムウエル、キノピコ、スネーク、赤ノコノコ、狩魔冥、あやし
いネコ、物上由衣、クツパ、ピット、ロビン、松代健、東稲穂、東
馬三郎、野比のび太、マリオ、上条当麻、外辺久、ドナルド・マク
ドナルド、デデデ、ファイアブロス、ディディーコング

復活するのは誰だ!?

ちなみにこれは本戦と並行して行われる。つまり、ハンターとハンターRGがごっちゃになって逃走者にとってかなり紛らわしくなっている。

さらに牢獄から出た確保者達の近くに1体のハンターRG。

ハンターRG26「あいつらは確保者だ!」

クツパ「来たぞ!」

一斉に逃げる確保者達。視界にとらえたのは1番遅いやつ。つまり・
・・。

クツパ「……って我輩か!?!」

ポン！

クツパ確保 確保者残り29人

デデデ「クツパ捕まりやがった」

ハンターRG48「(デデデじゃん。)」

デデデ「……ハンター来たけど……。ってあれはRGだ〜！」

ポン！

デデデ確保 確保者残り38人

ちなみに復活ゲームのスタートは残り860分ジャストなので、残り830分まで逃げ切れれば復活となる。ただしエリアには60体のハンターRG。本戦よりもハードだ。

青ピクミン「あれ？紫じゃん。今復活ゲーム中だっけ？」

紫ピクミン「そうなんだよ。それで一時はダメかと思ったピクミン全員逃走成功計画うまくいきそうだよ。(紫以外とか言ったら殺す……。)」

青ピクミン「そうだな。5人でがんばろう！(赤ピクミンからのメーブルについては言わないでおこう……。)」

キヨロちゃん「あれ？もしかしてハンター20001号!？」

ハンター20001「……。」

キヨロちゃん「たぶんそうだよね！これから君をクレイジーハンドのところに連れて行くんだ。ちょっと来てほしいクエツ。」

キヨロちゃん「早っ！」

キヨロちゃん「おい、クレイジー！」

クレイジーハンド「キヨロちゃんか。ハンター20001号を連れて来たんだね。」

そこに1人の少年が現れた。

少年「待て〜!!！」

残り時間858:00 逃走者120人

続く

ハンター20001号(後書き)

少年は誰!? 何しに来た!?

幻想殺し（イマジンプレイカー）

前回、「待て！」と叫んだのは……。

当麻「ちよつと待ってくれ！」

上条当麻だ。

キヨロちゃん「どうしたクエツ？」

クレイジーハンド「ハンター20001号はもらって行くぞ。ほら、逃走に役立つアイテムだ。」

ガアン！という音の後、ハンター20001号が言葉を発した。

ハンター20001号「全ハンターに命令。残り800分に全ハンター出動、五武山市を襲撃せよ。」

当麻「遅かった……。くそ、この野郎！」

上条当麻はクレイジーハンドを右手で殴った。

パン！という音の後、クレイジーハンドは紫色から白に変わった。

クレイジーハンド「あれ？僕はどうかしていたのかな？」

幻想殺し（イマジンプレイカー）。

上条当麻の右手に宿る力。右手で触った『異能の力』を全て打ち消

す能力。どうやらクレイジーは影虫を食らっていたらしい、そして幻想殺しは影虫にも通用するらしい。

当麻「間に合わなかった……。すまない……。」

管理室

ほーき雲「そんな……。間に合わなかったなんて……。」

マスターハンド「それなら緊急避難を実行するしかないな。アレイスター、大丈夫だな。」

アレイスター「今から避難？いつでもOKだ。」

ほーき雲「よし、これから学園都市に緊急避難を開始する！まずは全逃走者に知らせるように。」

逃走者達は。

キヨロちゃん「これは何かのスイッチだクエツ。」

クレイジーハンド「それはハンターに追われた時に確保の直前に使うと効果が出るんだよ。」

キヨロちゃん「なんか便利そうだクエツ。」

クレイジーハンド「ああ、そいつは便利だとも。」

当麻「ちよつと待て。あれハンターじゃないか？」

本物か？RGか？どちらかで逃げるべき逃走者が変わってくる。

キヨロちゃん「一応2人で逃げるクエツ。」

どちらかわからないので、2人共逃げることにした。

当麻「よし、分かれよう！」

2手に分かれる当麻とキヨロちゃん。当麻を追えばRG、キヨロちゃんを追えば本物である。

当麻「げっ！RGだったのか……。」

ハンターRG11「……。」

ポン！

上条当麻確保 確保者残り27人

当麻「役目すら果たせずに捕まったよ……。」

ほーき雲「メール打つのに時間かかったちゃったぜ。」

プルルルル

メールだ。

『【MISSION5】これより、新エリアへの移動を開始する。残り800分までに移動できなければ20000体のハンターが暴走する。移動するには、エリア内のどこかで『学園都市進入許可証』を受け取り、五武山駅南口ロータリーに停車中の55人乗りのバスに乗らなければならない。なお、バスは2台。1号車は残り805分発、2号車は残り800分発だ。なお、復活ゲームは継続する。』

風斬「こればかりは行かなきゃ。」

ワリオ「行かないとまずいってことか。」

このミッションは全員強制参加だ。

アウレオルス「偶然、逃げ切れちゃったりするのです。」

ハンターRG59「(逃げ切れなかったりするのです。)(」

ハンターRGが来ていることに気づいていない。

アウレオルス「……って目の前!?!」

ポン!

アウレオルス「イザード確保 確保者残り26人

冠「どこですかね?」

ルフィ「おーい、どこだ許可証!?!」

まだ一緒にいたルフィと冠茂。

ノワール伯爵「おっ、見つけちゃったでワール。」

妹達10034「まさかここだったんですね。とミサカは思わず驚きます。」

????「ほら許可証。」

ノワール伯爵、妹達10034。許可証獲得。

ネス「Dのところへ行けば何か知ってるかな？」

ネスはDに情報提供してもらいに行く。

黒子「全くヒントがないです。」

これは完全なノーヒントである。運が良くないと勘で見つけるのは難しいが、それしかないのだ。

どせいさん「なにか〜。」

小萌「もしかして……………ってことですよね？」

小萌先生の考えは合っている。しかし、それは小萌先生を含んだ1

部の人にしか関係ない話だ。

しかし、気づかない該当者もいる。

黒子「学園都市へ行くのに困ったのは初めてですの。」

白井黒子とか。

フォックス「110人……。10人アウトか……。」

残り800分の時点で逃走者数が110人を越えていた場合、あまりがでてしまう。そのあまりにならないように急がなくてはならない。

紫ピクミン「今のうちに探しておく……!」

確保者も復活ゲームのうちに許可証をもらえる場所を見つけておけば時間削減につながる。

ナスタシア「まさかあれですか?」

舞夏「意外と早く見つけちゃったんだな。」

しかし、その近くにハンター。

舞夏「ハンターだ!!」

舞夏の叫びによって、ナスタシアも逃げる。

ハンターRG44「(さっきのは何だ?)」

しかし、舞夏が見たハンターはRGだった。それに気づかず距離を離してしまった。

ネス「YAMAD'S SHOPへまず行こう。そしてDに何か教えてもらおう。」

まずは情報。そういう考えのネス。彼以外にもそういう逃走者はいる。しかし、『どこから情報をもらうか』を明確に決めているのはネスだけだ。

一方、勘で探す逃走者もいる。

美琴「こういうのは勘の方が見つかるのよ!」

リザードン「どこだ〜!」

管理室

ほーき雲「アレイスター、学園都市の方もいつバスが来てもいいようにしておいてくれ。」

アレイスター「わかった。」

フシギソウ「ハンターだ〜。」

ハンター「!!」

フシギソウはハンターに追われていた。運悪く本物だったらしい。

フシギソウ「あっ!!行き止まり!!」

ポン!

フシギソウ確保

残り時間 850:00 逃走者 119人

続く

幻想殺し（イマジンプレイカー）（後書き）

許可証はどこでもらえるのか？まだ秘密です。

学園都市の人間は普通に入れるはずなのに。

ネス「いきなり見つけた。」

早っ！

ネス「こうなるんだったらいちいち情報聞く必要なかったね。」

ああ、なんてネスは運が良いんでしょう。どっかのK・Tとは大違い……。

当麻「ハックション！！誰か噂してるのかな？不幸だ……。」

あとオリキャラのS・Hも同様に。

久「ハックション！！なんだ??？」

裏切り者「こういう状況困るんだよな。」

今はドタバタがありすぎて余裕がないのは裏切り者も同じだ。

裏切り者「まずはミッション優先だね。」

神裂「次々とミッションが起こっていきますね……。逃走中とはそういうものなのでしょうか?」

そういうものでしょう。

神裂「おや？あの人……。何か聞いてみましょう。」

????「あれ？逃走者だよな？だったらこれ、許可証。」

神裂「あ、ありがとうございます。」

いきなりもらえらると思っていなかった神裂火織。しかし許可証を配るやつは一体何者で、配っている場所はどこのか。運良く見つけられた人にしかわからない。

そもそも逃走者多すぎです。（自分でそうしたんだろ。）なので少々省略していいですか？（殴）

若干省略（殴）

数十人ほどが許可証を手に入れた。そして復活ゲームで残っているのは松代健、紫ピクミン、スネーク、シェリー、クロムウエルのみ。残り時間は834:00。ミッション終了まであと4分。

ほーき雲「こんなことして大丈夫かな……。」

マスターハンド「俺は責任とらない。あとよろしく。」

ほーき雲「……。」

ネス「おーい。Dさん。何か情報くれませんかー？」

D「お、また来たんだ。」

ネス「あれ？いっぱい持つてるそれは何？」

D「学園都市進入許可証。」

ネス「えっ、まさか……。」

D「許可証もらえる場所ってこのことだよ。」

ネス「まあいいや。とりあえずください。」

D「ほらよ。」

ネス「手に入れたけど……まさかYAMADAS SHOPでも
らえるとはね。Dって逃走中にかなり協力的だけど……。」

その時、何かがネスに突っ込んで来た。

ネス「リザードン！？」

リザードン「逃げないとヤバイぞ！ハンター来てるからな！」

ネス「ハンター連れて来るなよ！」

ハンター「（見つけたぞリザードン！）」

リザードン「ほらハンター来たぞ。」

ハンターが視界にとらえたのは……。

リザードン「やっぱりこっちかー!!」

リザードンだ。

リザードン「飛べないってつらいな……。」

ポン!

リザードン確保 残り118人

一方通行「そんじゃあバス乗るかア。」

打ち止め「間に合ったんだよ。ってミサカはミサカは喜んでみたり。」

黒子「全然見つからないですのー!!」

かなり焦っている白井黒子だが、実はもらう必要はないことを知らない。

元々この学園都市進入許可証は普段学園都市に住んでいない人を学園都市に特別に入れるようにするためのものであり、いつも学園都市に入れる人間にはこんなものいらぬのだ。それに気づかず許可証を探している学園都市の人間は白井黒子ともう一人……。

美琴「意外と勘違って見つからないものね。」

御坂美琴だ。

御坂美琴はハンターを見た。

ハンターRG42「……。」

しかし、それはRGだ。

ハンターRGと御坂美琴の一直線上（御坂美琴側）には……。

シェリー「あれはハンターなのかな？」

シェリー「クロムウエルだ。」

ハンターRG42「……!!」

ハンターRGはシェリー「クロムウエルを見つけ走り出した。」

美琴「え！本物なの!？」

御坂美琴はハンターをRGだと思っていたが、シェリー「クロムウエルに気づかず走り出したため、本物だと思い込み、逃げ出した。」

シェリー「なんだ、本物だったのね。」

シェリー「クロムウエルはハンターが御坂美琴を追っている本物だ
と思い込む。」

御坂美琴がシェリー「クロムウエルを追い抜く。

ハンターRG42「。。。。」

ハンターRGはそのままシェリー「クロムウエルを視界にとらえた。

シェリー「。。。ってRGかよ!!！」

ポン！

シェリー「クロムウエル確保 残り確保者3人

復活ゲーム終了まで10秒

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

ピー！！

復活ゲーム終了

紫ピクミン、スネーク、松代健復活。

プルルルル

メールだ。

『【復活ゲーム結果】紫ピクミン、スネーク、松代健復活。バス1号車発車まで25分。バス2号車発車まで30分。』

紫ピクミン「さあて、赤と白はどうしようかなあ。」

悪魔の顔つきになった紫ピクミン。

スネーク「近寄らない方が良さそう。」

小萌「この学園都市用の身分証明書でいいですか？」

アンチスキル
警備員「どござ。」

小萌「やっぱり！」

やっぱりと言えることなのだ。気づかない方がおかしい。

黒子「学園都市の風紀委員ジャッジメントが学園都市に入るのに困るなんて初めて
ですの。」

さっさと気づけ風紀委員ジャッジメント。

ネス「バスあつた！」

アンチスキル
警備員「学園都市進入許可証を提示してください。」

ネス「警察！？」

アンチスキル
警備員「警察じゃなくて警備員だよ。」

ネス「アンチスキルねえ……。」

2台のバスにはそれぞれ警備員アンチスキルが同乗する。こういところが学園
都市らしい。

そのあとどんどん逃走者がバスに乗っていき、1号車は満席とな
った。

残り時間824:00 逃走者121人

続
く

ハンターがいないと何もできない

とにかく必死で許可証をもらえる場所を探す逃走者がいるんな所にいる。20000体のハンターの暴走。そんなことをされてはヤバイからだ。

ルフィ「許可証はなんとか見つけたけどどこどこだ？」

道に迷う人がいたり

馬太郎「体力が限界じゃ〜。」

体力が限界に達している人がいたりする。

クリボー「ハアハア。やっと到着だ〜。」

どうにかしてバスに乗れた人がいれば

黒子「もしかしていつもの身分証明書でいいんですの!?!？」

今になって自分は許可証をわざわざもらう必要はないことに気づく人がいる。

木下「これじゃ間に合わないじゃん!！」

ヤベエ、木下陰人君の存在忘れてた。

キノじい「ハンターか・・・もう無理じゃ・・・。」

ポン！

キノじい確保

このように諦める逃走者も現れた。

そんな中、2号車発車まであと10秒。

ほーき雲「いつの間に!?!」

そこへ一人走っている。

ソニック「もうちょっと……。全速力!」

9

8

7

6

5

4

3

2

1

ソニック「乗ります！」

0

なんとかセーフ。

ソニック「焦ったー。」

残されたのはピチュー、土御門舞夏、テレサ、成歩堂みぬき、ライブラリ、諏訪原戒、木下陰人。結局暴走したハンターに捕まり確保残り110人。

バスが向かった先は学園都市第7学区。とある魔術の禁書目録では主にここが舞台となる。

ネス「作者とマスターと変なのが来た！」

当麻「何だあの右手！？さらに水槽の中に逆さになって入ってるやつまでいるし！」

元春「あれはアレイスター・クロウリー。学園都市の理事長だにやー。」

当麻「あれが理事長ってどうやって窓のないビルから出たんだ？」

元春「俺にはわからないにやー。」

その気になれば100個も可能である。それをプレイヤーが蹴れば勝ちなのだが、鬼の人数は最初の缶の数-1人になる。つまり、最初は必ずどこかに鬼が守っていない缶があるということである。エリアの広さは逃走中と同じくらいがいい。今回は学園都市第7学区だ。基本的にチーム戦で、今回は11人×10チームで行う。時間制限は無く、全ての缶が蹴られたら終了。蹴った缶の数+残った人数が得点となり、得点が高いチームの勝ち。

今回だけの特別ルール

原則として鬼に見つかったら鬼が缶に触れながらスイッチを押し、見つかったプレイヤーの爆弾チヨッキ（解除中と同じもの）が爆発失格となる訳だが、チームの中で1人だけ爆発 スタート地点で3分休み 復帰となる『キング』を1人決められる。キングがいるため、チームが全滅というのはありえない。しかし、キング以外が全滅となった時点でキングが単独行動となるが……。

これは逃走中本戦にも関係し、最下位のチームは本戦から強制失格となる。

ほーき雲「それじゃチームは1号車と2号車に分けて、そのあとそれぞれ11人×5チームを作ってください。」

現実的に考えれば当然作者がチームを決めることになる。しかし、まだあまり決めていないので、次回の更新までしばらくお待ちください。

一方、五武山市をハンターの暴走によって埋め尽くしたタブー一味

は……。

タブー「これで五武山市は俺の物だ。スマブラメンバーなんて楽勝楽勝。」

プリム「ちょっと待ってください。逃走中に参加しているのはスマブラメンバーではありません。億単位の賞金首でONE PIECEから出演の麦わらのルフィや、学園都市最強の超能力者である魔術の禁書目録から出演の一方通行などは特に危険です。」

タブー「それぐらいだろ。あとはザコだ。」

ほーき雲「おっ、このハンターはうまく乗っとれそうぞぞ。」

『HUNTER10755 ACCESS OK』

ほーき雲「あとはここをこつして制御をラストオーダーからこの管理用コンピューターに変える。」

ハンター10755 暴走停止

ほーき雲「しかし、1体ずつこんなことやったらきりがない。2000回もこんなことしたくない。だからこそ、なんとかラストオーダーへのアクセスを成功させないと……。」

『HUNTER20001 LAST ORDER DATA
OPEN』

ほーき雲「まずは突破口を探さないと……。」

続
く

ハンターがいないと何もできない(後書き)

なんとか早めにチーム決めます。募集参加の人で、このキャラクタ
ーと同じチームがいいとかあれば1人まで受け付けます。

団体戦と逃走中取り戻し作戦

ほーき雲「全員のチームが決まったようだね。それじゃ、チーム発表だよ！」

1号車 A

ネス、Mr.ゲーム&ウオッチ、一方通行、妹達1003
4、東和馬、梓川月乃、ピエロ・ボルネーゼ、緑ノコノコ、ドドン
タス、王泥喜法介、リセットさん

1号車 B

ドンキーコング、アイク、トゥーンリンク、白ピクミン、神裂火織、
打ち止め、デイメーン、マネーラ、ためきち、ブルック、藤田

1号車 C

ルイージ、リュカ、ポポ、黄ピクミン、インデックス、妹達100
33、松代健、黒柳亮、しら、裁判長、つねきち

1号車 D

ゼニガメ、ステイルマグヌス、月詠小萌、妹達10032、成歩
堂龍一、綾里真宵、ベビイルイージ、ナスタシア、ゾロ、サンジ、
キヨロちゃん

1号車 E

リンク、ガノンドロフ、青ピクミン、マルス、土御門元春、風斬氷
華、ベビイマリオ、ナミ、まめきち、源静香、藤江

2号車 A

ピカチュウ、レッド、ロボット、ルカリオ、どせいさん、ソニック、

御坂美琴、マイスター霧崎、赤パタパタ、ワルイージ、ゴドー

2号車B

ワリオ、ピーチ、フォックス、ハンマーブロス、ヘイホー、ノワール伯爵、河内恭介、東馬太郎、つぶきち、ドラえもん、藤川

2号車C

サムス、メタナイト、ナナ、芳川桔梗、クリボー、ブーメランプロス、カメック、冠茂、梓川雪乃、狼士龍、ウソップ

2号車D

ヨッシー、ゼルダ、オリマー、紫ピクミン、白井黒子、青髪ピアス、姫神秋沙、ルフィ、フランキー、レアライトロード、一条美雲

2号車E

マルス、赤ピクミン、ファルコン、ウルフ、冥土返し、緑パタパタ、カロン、チョッパ、御剣怜侍、牙琉響也、剛田武

それぞれのチームのキング

1号車A 一方通行 1号車B 神裂火織 1号車C ルイージ

1号車D 成歩堂龍一 1号車E 青ピクミン 2号車A ソニック

ク 2号車B ノワール伯爵 2号車C 冠茂 2号車D ルフィ

2号車E ファルコン

ピーチ「それで、鬼はどうするの？」

ほーき雲「缶の数は70個。つまり鬼は69人。これらは妹達の検
アルナンパー
シスターズ
シリ
体番号19001〜19069を使うよ。」

これが何を意味するのか。それはゲーム中に明らかになる。

ほーき雲「優勝チームには超便利アイテムがもらえるから頑張つてね。」

超便利アイテム。ネスとキヨロちゃんが持っているあの謎のスイッチのことである。ただ、まだ効果は発揮されていないため、持っている2人さえもその便利さを知らない。

ほーき雲「それじゃあ全員（鬼も含めて）スタート位置についたね。」

10

2 3 4 5 6 7 8 9

1

0

ピー！！

缶蹴り団体戦スタート

ほーき雲「それじゃあ僕は逃走中の再開するための作業に入りますか。」

19028「缶発見しました。とミサカは事実を言います。そしてさらにプレイヤーも見つけました。とミサカはもうひとつ現状報告をします。」

裁判長（1号車C）「えっ!?!」

パン！！

裁判長失格 1号車C残り10人

失格情報は失格になった者の味方にもみ伝えられる。

しら（1号車C）「ああ、あの人（頭が）輝いてたのにな。」

黄ピクミン（1号車C）「まあ、チームの中で最年長だからね。運動能力も劣っているのかな。」

黒柳（1号車C）「クズ野郎だ。」

クズとかカスとかは黒柳亮の口癖である。

リセットさん（1号車A）「地下にいれば安全だな。．．．でもこれじゃ缶蹴れねえ！それでもいい！俺が残れば1点手に入る！」

残りプレイヤーの点数を稼ぐリセットさん。

オリマー（2号車D）「慎重に慎重に．．．。」

慎重に少しずつ進むオリマー。

美琴（2号車A）「こんなの正面衝突よ！」

とにかく突っ走る型の御坂美琴。

動き方はさまざまだ。

ほーき雲「しょうがない。これはもう直接攻めるしかないのか．．．。」

マスターハンド「やむを得ないね。この団体戦終了までに作戦練らないと．．．。」

ほーき雲「しかし、登場作品によっては全く戦力を持たない者もいるからな．．．。」

クレイジーハンド「スマブラ中心に攻め、他のやつは戦力が無くてもできることをやる．．．でもそれは何だ？」

ほーき雲「戦力が無くてもできることはある。それに戦えるのは他にもたくさんいる。とにかく、戦力を持つ者はなるべく戦いに回し、それ以外のみ他のことをする。こんな感じでどうだろう?」

マスターハンド「それだけじゃ不完全だな。もっと作戦を考える必要がある。」

続く

団体戦と逃走中取り戻し作戦（後書き）

感想待っています。

20回目ですな(前書き)

うまくタイトルが思い付かなかったので、20回目というのを生かしました。

20回目ですね

一方通行（1号車A）「缶発見。しかも鬼いねエじゃん。」

一方通行が見つけたのは鬼が見つけていない缶。こうなってしまえばなんの遠慮も無く蹴ってそれで終了である。

ボコッ

一方通行により、1号車A 1 pt獲得。

しら（1号車C）「うわ！妹達に見つかった！」

10033（1号車C）「私は逃走者のミサカ10033号であり鬼のミサカではありません。とミサカはあなたを安心させます。」

しら（1号車C）「ってことは仲間か。良かった・・・。」

10033（1号車C）「しかし、鬼のミサカ19017号はすぐ近くにいます。とミサカは脳波リンクで導き出した結果をあなたに報告します。」

19017「10033号がすぐ近くにいますね。しかし、目視しなければ失格にできませんから。とミサカ19017号は脳波リンクで導き出した結果について試行錯誤します。」

シスターズ

妹達は脳波リンクを使って鬼、逃走者を問わず通信できる。これをどう使うかが勝利のポイントである。ただ、妹達はみんな姿が同じなので鬼か逃走者かは判別はほぼ不可能だ。

つぶきち(2号者B)「あの缶は鬼がない！」

チャンスだと感じ、動くつぶきち。

19067「甘いですね。とミサカは欺きます。」

パン！

つぶきち失格

19067号は隠れていたようだ。

19038「10032号が近くにいますね。とミサカは脳波リンクから導き出します。」

10032(1号車D)「気づかれたみたいです。しかし目視されなければ爆発しませんから。とミサカは欠点を指摘します。」

19038「10032号の居場所はわかりますが、見に行けば他の人が現れるかもしれません。とミサカは警戒します。」

警戒しながらも、10032号に近づく19038号。

ファルコン(2号車E)「もらったー！ー！」

背後から現れたのはファルコン。

ボコッ！

19038「負けました。とミサカは自分の負けを認めます。」

ワリオ(2号車B)「ここら辺に缶無いかな？」

そこには缶があった。

19004「ワリオを目視しました。とミサカは事実を言います。」

パン！

ワリオ失格

鬼もいたようだ。

19053「あれ？このお面は何でしょう？とミサカは疑問に思います。」

ハイホー(2号車B)「……………。(ヤバイ!)」

それはハイホーだ。

19053「諦めて他探します。とミサカは断念します。」

ハイホー(2号車B)「(危ない……………)」

19053「ハイホー目視。」

パン！

ハイホー失格

19053「不意打ちです。とミサカは終わった戦略の詳細を敗者に説明します。」

ドドンタス（1号車A）「こっちもいるぜ！」

19053「！！！」

19053号はドドンタスに気づいたが、間に合わなかった。

ポコッ！

ドドンタス「さあ他行くか。」

ほーき雲「こんなんじゃないよ。」

マスターハンド「あと37個か……。」

ほーき雲「とにかくここをこう役割分担して……。ここなら戦力無くてもできるから……。」

クレイジーハンド「いい案がある。こいつの強力な技を使うために戦力の無い逃走者をこのように動かせて……。」

ほーき雲「それはいい案だ。さらに、残りの戦力のあるやつを足止めに戻す。その時にどういふ敵が来るのか分かればさらに作戦考えられるんだけど……。」

マスターハンド「もう残りの缶は15個。急がないと缶がなくなつたのに終わらせるやつがいませーんなんてことになったらヤバイぞ。」

ほーき雲「それじゃ僕は終了準備しておくからみんなで作戦考えて！あとアレイスター少しは発言して！」

アレイスター「だって……。タブーといわれても何もわからないんだ。」

クレイジーハンド「それもそうだな。タブーっていうのは……。」

クレイジーハンドはしばらく説明していた。

マスターハンド「おいクレイジー！もう残り缶の数0個になつてるぞ！」

クレイジーハンド「よし！あの案で行こう！」

ほーき雲「よし！終わったな。」

『ゲーム終了。優勝は蹴つた缶16個、残り人数8人の1号車A。最下位は蹴つた缶4個。残り人数2人の2号車Bだ。ではさっさとスタート地点に戻れ！さもないと強制失格にするぞ！』

アイク「なんでそれだけで強制失格になるんだよ！」

同様の意見を持つ逃走者はたくさんいた。

ほーき雲「大丈夫。戻らないと強制失格ってのは冗談だから。」

逃走者「ふざけんな！！！」

ほーき雲「それよりも、これから五武山市取り戻し作戦を実行する！！！」

その頃、

マスターハンド「敵の様子が変わった！ボスキャラのリドリー、ボスパックン、ポーカー、デュオン以外は全員ザコのプリムだ！」

クレイジーハンド「それなら4つに分けた方がいいな。」

続く

20回目ですね(後書き)

現在感想くれないと死んじゃう病です。(笑)

ウソップ「俺のまねするなよ。」

逃走者VS亜空軍

ほーき雲「これから、タブーに乗っ取られた旧エリアを『全員で』
取り返しに行きます。」

牢獄「捕まった俺達も参加かよ。」

ほーき雲「そうなるね。それじゃ、いくつかのグループに分かれて。」

ほーき雲は計画通りにグループ分けをする。

ほーき雲「そしたら動き方を説明するね。エリアにはボスパックン、
リドリー、ポーカー、デュオンと大量のプリムがいる。その中で、
ハンター20001号を連れて戻って来ること、全ての敵を倒すこ
とを同時に行う。そうすれば逃走中を再開できる。」

ためきち「ちょっと待って。僕が戦うのは無理だなも！」

ほーき雲「大丈夫。戦えない逃走者もやることはある。このカード
をエリアにたくさんばらまいてほしい。それならできるだろう。」

マスターハンド「牢獄のやつらも出てこい。」

ほーき雲「すぐ始めるよ！」

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

スタート

全員で旧エリアに侵攻していく。逃走中を再開させるため、五武山市を守るため、それぞれ自分の持つ力を使って攻めていく。

神裂「皆さんは下がっててください。」

神裂火織は長い刀を持った。

神裂「七閃。」

一気にプリムが倒されていく。

ファルコン「ファルコンパンチ!!」

ネス「PKファイヤー!!」

一方通行「最強に逆らうとはとんでもねえ三下だなア。」

成歩堂「この変な模様のカードまくとどうなるんだろっな。」

その頃、ボスパックンは御坂美琴と衝突していた。

美琴「アンタが最初に倒されるのかしらね。」

ボスパックンは御坂美琴に襲いかかる。

美琴「レベル5に襲いかかっておいて……。」

御坂美琴はポケットからコインを取り出した。

美琴「勝って帰れると思わないことね!!」

御坂美琴は電気をためている。

ボスパックン「!!!!!!」

ボスパックンが御坂美琴を攻撃する直前の出来事だった。

ズドーン！という音の後、ボスパツクンは倒れていた。

レールガン
超電磁砲。

電気のでコインをすごいスピードで飛ばす。電気は10億Vにも達するという。これが学園都市第三位の実力である。

ただし、これはまだ第三位である。ならば第一位はどんなやつなのか……。

一方通行「おやア？まだ俺は全くダメージを受けてませんけどオ？」

アクセラレータ
一方通行その人である。

一方通行「まア、お前みたいな三下がこの学園都市第一位の俺にダメージを与えられるとも思わねエがなア。」

リドリ「……。」

リドリは必死で一方通行を攻撃する。しかし、当たる訳がないのだ。彼は運動量、熱量、電氣量、あらゆるベクトルを触れただけで操ることができる。その能力の名前は彼の名前と同じ一方通行である。そもそも彼にはもっと人間らしい名前があった。それも今では名字2文字、名前3文字というあいまいな記憶しか残っていない。

一方通行「じゃあ俺も本格的にお前を攻撃してやるよ。」

突如、一方通行の頭上にプラズマの塊が現れた。

一方通行「圧縮、圧縮、圧縮……。」

リドリーが一方通行に近づいた瞬間！

リドリー「ギヤアアアア！」

一方通行「何だ何だよ何ですかア？もう終わりかア三下ア！」

リドリーは倒れた。

こうして、学園都市の2人のレベル5によって2体のボスが倒された。

ルフィ「ギアセカンド！！！」

ギアセカンドになったルフィが見たのは……。

デュオン「……。」

真宵「何あれ……。スマブラという世界にはあんなのがいるの？」

リンク「カードばらまき担当の護衛としてプリムを倒すためにいるんだもんな。デュオンと戦うためじゃない。デュオンと戦うためならせめてあと数人は連れていくんだけど……。デュオンがこっちの事情を気にするはずがないもんな。」

リンク1人では次々と現れるプリムを倒すのに精一杯だ。

リンク「デュオンに見つからず、プリムを倒しながらカードをばらまく……。これしかないのか。」

デュオン「!!！」

リンク達がデュオンに見つかった。

ルフィ「（間に合え……。）ゴムゴムの……。」「

リンク「何とかしてやる!!！」

ルフィ「ジェットピストル!!！」

デュオン「!!！」

間に合ったようだ。

そこに、スマッシュボールが現れた。

リンク「よし、最後の切り札だ!!！」

デュオンがルフィに襲いかかる。

リンク「次は俺だ!!！」

デュオンがリンクの方を向いた。

リンク「トライフォースマッシュシュ!!！」

デュオンのところに現れた金色の三角形。リンクは今までにない力でデュオンに攻撃している。

リンク「うりゃあー！ー！！」

デュオンを倒した。残りのボスはポークーのみ。しかし、プリムはどンドン増えていく。

しら「なんとか・・・耐えるしかない！」

メタナイト「ポークーはすぐ近くにいる。今は隠れた方がいい。リユカがいるようだ。俺はここにしよう。護衛役に専念する。」

リユカ「ポークー、僕が相手だ！」

ポークーはリユカを狙いに定める。

ドーン！

リユカ「サイマグネット！」

なんとか防げた。

リユカ「これは・・・スマートボム？」

足元にスマートボムが落ちていることに気づいたリユカ。迷わず使う。

ポークーにはある程度ダメージを与えられたが、倒すところまでは

いつていない。

そんな中

ほーき雲「ステイル、大丈夫そうか。あれを発動できるのか？」

ステイル「これくらいなら大丈夫だろう。タブーとかいうやつに必殺の魔術を味わわせてやろう。」

続く

逃走者VS亜空軍（後書き）

感想ください

タブーVS無能力者(レベル0)

リュカ「かなりヤバイ！」

リュカは追い込まれていた。

ポーキー「……。」

ポーキーは無言のまま攻撃してくる。

リュカ「もうダメだ……。」

その時！

シエリー「エリス！」

そこに現れたのは巨大な石像ゴレム、エリス。

そしてもう一人。

当麻「うおおおー！！！」

拳一つで立ち向かう上条当麻。

ポーキー「……！！……！！……。」

そんな当麻がポーキーに敵うはずはなかった。

当麻「ぐっ……！！！」

当麻はポーキーの攻撃によって飛ばされてしまった。

シエリー「エリス、行け！」

しかし、上条当麻の右手は思わぬ物に触れてしまった。

バアンという音の後、エリスは崩れてしまった。

当麻「しまった……。エリスに触れてしまった……………」

シエリー「そんな……………」

リユカ「他に誰か来ないの？」

祈りは通じた。

ステイル「イノケンティウス！」

現れたのは、ステイルの魔術によって召喚された魔女狩りの王（イノケンティウス）。

当麻「ステイル！」

ステイル「みんなのおかげでイノケンティウスを使えたよ。近くに大量のルーンが無いとイノケンティウスは使えないからね。」

しら「僕もたくさん貼っておきましたよ。」

戦力の無い逃走者にやらせていたこと。それはルーンをばらまき、

イノケンティウスを発動させる準備をすることだった。

リユカ「すごい。炎の巨人が一瞬でポーキーを倒しちゃったよ。」

スタイル「イノケンティウスの温度は3000℃もある。あんなやつ秒殺だよ。」

しら「イノケンティウスがいればタブーだって簡単に倒せるよね？」

スタイル「まあ、あんな水色のバケモノを倒すくらい簡単だろう。」

タブー「くそつ、ボスキャラが全てやられただど!?!」

ついに、タブー自身が動き出した。

スタイル「ついに動いたか。このイノケンティウスで成敗してくれる!」

タブー「全員死ね!OFF波動!」

タブーはいきなりOFF波動を使ってきた。

全員がフィギュアになってしまった。それはスマブラメンバーだけでなく、他の作品から出演した逃走者ですら。

スタイル「……。」

フィギュアになっているスタイルには魔術は使えない。そのため、イノケンティウスは消えてしまった。

タブー「フン、これでおしまいだ。スマブラメンバー。せつかくだから俺を邪魔したやつら全員殺す。」

????「ふざけんじゃねえよ……。」

タブー「何っ！なぜ生きている！？全てフィギュアになったんじゃないかったのか!？」

タブーのOFF波動をくらっても、なんともないやつがいた。そいつの名は……。

当麻「だまれ。俺はお前を止める!」

上条当麻だ。幻想殺しはOFF波動も打ち消したのだ。

タブー「止めるだあ？ただの学生にそんなことができるわけないだろ！俺はスマブラメンバーがにくい。だから殺してやるんだよ！お前は邪魔するな!」

当麻「お前がどうしてもスマブラメンバーを殺すと言つのなら……。」

上条当麻は拳を力強く握る。

当麻「俺は、お前のそのふざけた幻想をぶち殺す。」

タブー「お前を先に殺してやる!」

タブーは当麻にビーム攻撃をくりだしてきた。

当麻は右手で打ち消していく。

タブー「立ち向かって来るならただ者じゃないな。クレイジーの影虫も破壊したそうじゃないか。」

当麻「だまれ！あんな、みんな逃走中に本気で挑んでるんだよ。それをお前が邪魔していいわけねえだろ。真剣なゲームの途中なんだよ。それを邪魔したお前を俺は許さない！」

当麻は拳を握って突撃してくる。

当麻「うおおおおー！！！」

当麻は力いっぱいタブーを殴った。

バギーン！という音がした。

タブー「ぐっ……ぐあああああ！！！」

タブーは破壊された。タブー自身が異能の力だったのだ。

当麻「やったか……。」

残されたのは上条当麻と大量のフィギュア。当麻は1つずつ幻想殺しで元に戻している。

当麻「全員元に戻すだけでもかなり疲れるなあ。」

しばらくして、当麻は全員を元に戻した。

ほーき雲「ありがとう。これからゲーム再開だね。タブーもないし、思いっきりできそうだな。僕は管理役だけだ。」

当麻も喜んでいた。しかし、上条当麻は不幸な人間だ。すぐに彼を『不幸』が襲った。

ほーき雲「それじゃ、ゲーム再開するから確保された人は牢獄入ってね。もちろん、上条君もだよ。」

当麻「そうだった。俺はすでに確保されていたんだ。」

そして上条当麻はお決まりのセリフを叫んだ。

当麻「不幸だー！ー！ー！！！」

なお、缶蹴り団体戦でビリだった2号車Bチーム。ピーチ、フォックス、ワリオ、ハンマーブロス、ヘイホー、ノワール伯爵、東馬太郎、藤川、つぶきち、河内恭介強制失格。残り逃走者99人。

ほーき雲「ついに逃走者が100人を下回ったぞ。そうそう、優勝した1号車Aチームには超便利アイテムをあげるんだったね。」

ネス「ねえ、このスイッチって2つ持ってる意味あるの？」

ほーき雲「無いね。だから1個他の逃走者にあげたら？」

ネス「じゃありユカにあげる。」

リュカ「やった〜。」

ほーき雲「その使い方はハンターに追われた時、確保直前に押すと効果を発揮するよ。じゃ、ゲーム再開だ！」

とある場所にて、1つのフィギュアが置いてあった。

陰人「……。」

影が薄く、いつも忘れられている木下陰人。今回も忘れられた。

残り時間 800:00 逃走者 99人

続く

タブーVS無能力者(レベル0)(後書き)

お待たせしました。次回から逃走中再開です。残り800分逃げ切り、1800万円を手に入れるのは誰だ!?

ゲーム再開 & a m p ・MISSION 6 (前書き)

お待ちせしました。逃走中が再開します。

ゲーム再開& a m p・MISSION 6

ゲーム再開まで

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

ゲーム再開。残り時間800:00 逃走者99人

インデックス「やっと始まったんだよ。逃げ切つてやるんだよ!..

「ってメール？」

『ゲーム再開。作者が面白がってハンターを25体にしました。頑張ってね』

逃走者「ふざけんな……。」

ほーき雲「大丈夫。5分たったらどうにかするから。」

チョッパー「あなたが冥土帰し（ヘブンキャンセラー）さんですか？」

冥土帰し「確かにそう呼ばれてるけど？」

チョッパー「俺も医者なんです。あなたは学園都市の名医として有名ですよ。」

冥土帰し「病院は戦場だよ。そして僕は必ず戦場から帰って来る。……まあ、1度だけ失敗したけどね。」

上条当麻の記憶消失を治せなかったことを悔やむ冥土帰し。しかし、その近くにハンター。

チョッパー「すげー！！」

ハンター「！！」

見つけた。

チョッパー「ハンター！！」

逃げる2人の医者。ハンターが視界にとらえたのは……。

冥土帰し「あ、こっち来たね。」

冥土帰しだ。しかしリアクションが薄い……。彼の性格を考えると叫んだりする方が違和感あるが……。それより、彼は老人である。そんなに速く走れるはずがない。

ポン！

冥土帰し（ヘブンキャンセラー）確保 残り98人。

美琴「あ、リアル・ゲコ太捕まった。」

御坂美琴は冥土帰しのことをリアル・ゲコ太とよぶ。ゲコ太というのは美琴が気に入っているカエルのマスコットで、冥土帰しは顔がカエルに似ているためこうなった。

チョッパー「憧れの医者だったのに……。」

リアル・ゲコ太と呼んでいることをチョッパーが知ったら怒るだろうな。

レアライトロード「ハンター多すぎる。このままだと見つかったらうよ。オリキャラとして頑張らなきゃ。」

レアライトロードの視界にはハンターが2体見えている。

その時！

ブルルルルル

メールだ。これはミッションなのだが、この音でハンターに見つかった。隠れていたため、抜け出すのに時間がかかる。

ポン！

レアライトロード確保 残り97人

残るオリキャラはクロノス社支部の藤田と藤江のみ。

そしてミッションの内容説明。

『【MISSION 6】現在、1体のダミーハンターがエリアの最北端から長倉公園のハンターボックスまで移動中だ。残り775分になると中から10体のハンターが放出される。阻止するには空き家村のどこかにある『冷凍銃配付所』にて冷凍銃をもらい、ダミーハンターを止めなければならない。なお、冷凍銃は20丁あり、本物のハンターを冷凍することも可能だ。ただし、冷凍銃は1回しか使えない。』

ハンター放出の危機とハンター減少のチャンスが同時に現れた。ミッションをクリアできるのか？

しら「これ以上ハンター増えてたまるか！」

ネス「ハンターに追われた時効果を発揮するってことはハンターに追われても大丈夫ってこと？ だったらリスクを恐れる必要はないってことだよな。じゃあ行こう。」

デイメーン「冷凍銃か。心強い。ほしい！」

ハンター放出を阻止したい者、自分を守るために冷凍銃が欲しい者さまさまである。今回はかなりたくさんの逃走者がミッションに行くようだ。よって、誰が行くかは省略します。

インデックス「90人以上いるんだったら私が行かなくても大丈夫だよな？」

こういう発想の逃走者もいるが・・・。

藤江「あれが空き家村？ 確かに家がいっぱい。空き家村ってことは誰も住んでいないの？」

空き家村は、今は少しずつ人が住んできているが、まだ空き家は多い。そんな状況である。

D「今回のミッション役目無し？」

今までミッションのたびに登場してきたD。ミッション1以外では

いつもどこかに出ていたDだが、今回は君の出番はありません。

一方、エリアの端のとある場所では……。

ピアス「何なんこれ？変なフィギュアやけど。」

似非^{えせ}関西弁の青髪ピアスが木下陰人のフィギュアを見つけたが、青髪ピアスはそれが何なのかを知らない。これはスマブラメンバーと作者と上条当麻しか知らないのだ。

ピアス「スルーしよう。」

そしてあっさりスルーされた。木下陰人が元に戻る時は来るのか？

陰人「（助けて〜）。」

フィギュア状態のため、言葉を発することができない。しかも木下陰人は元々影が薄い人間だ。これでは復活は難しいだろう。まあこいつは復活しても牢獄行きだが……。それでは牢獄の人間は木下がないことに気づいているだろうか？

牢獄DEトーク

当麻「53人いるはずなのに52人しかいない気がするんだけど。」

当麻以外「気のせいだつて。」

誰も気づいていなかった。

残り時間 8 9 1 : 0 0 逃走者 9 7 人

続く

ゲーム再開&MISSION6(後書き)

感想待ってます。特に木下陰人関連とか。ミッション関連でも、それ以外でも待ってます！

とまぞまなできごと（前書き）

作者は今日ウィンターキャンプ at 長野湯の丸高原から帰って来ました。そしてお久しぶりです。

とまねまなできい」と

裏切り者は長倉公園を出た。ここで待ち伏せすればたくさん通報できるが、それで怪しまれてはいけなからだ。

裏切り者「……。」

ただ黙って後にしたため、セリフは無し。(笑)

管理室

ほーき雲「あれ？なんであいつがこんなところにいるんだ？」

マスターハンド「あれ誰？魔法使いっぽい格好して飴なめてるけど……。」

クレイジーハンド「表は深緑、裏は黄色の服か。分かりやすい。」

ほーき雲「あともう少ししたらミッションに使うかな。」

しら「ミッション！冷凍銃！」

藤江「俺も行く！」

裁判長「2人共速いですね。私のような老人ではついて行けません。」

足手まといになる裁判長。その近くにハンター。

ハンター「（発見！）」

見つけた。

しら「先逃げるね！」

藤江「後は任せた！」

足が遅い裁判長を置いて進む2人。当然狙われたのは裁判長だ。

裁判長「ひどいですよ。」

ポン！

裁判長確保 残り96人

しら「裁判長確保……。」

藤江「どうせ文句言いまくってるだろう。でも逃げられない者が捕まるのが逃走中。しかも裁判長を待ってて全員捕まるなんてことにはなりたくないからな。」

そして、空き家村の中に入るしら& amp・藤江。そこにマルスが

いた。

マルス「僕も行かせてもらおうよ。」

いろいろな逃走者が空き家村に入っていく。

打ち止め「ねえ、ミッション行こう。ってミサカはミサカは誘って
みたり。」

一方通行「行こうか。」

こちらも空き家村へ向かう。

緑パタパタ「うわあ！ハンターだ！」

ハンターと鉢合わせになった緑パタパタ。

緑パタパタ「あれ？ハンター追って来ないよ。」

ハンター「……。」

緑パタパタ「何者？」

赤パタパタ「そいつはダミーハンターじゃないか？」

緑パタパタ「赤、突然現れたね。」

赤パタパタ「緑、色で呼ぶのをやめようよ。」

緑パタパタ「お前も色で呼んでるじゃないか！」

とにかく、ダミーハンターだったため、捕まらずに済んだ。

藤江「着いた！」

しら「冷凍銃ください！」

マルス「あなた誰？」

「――「僕は――だひんじょうよ。はい、冷凍銃3つね。」

しら、マルス、藤江冷凍銃獲得 残り17丁

管理室

ほーき雲「なんで――が……。」

マスターハンド「おい！大変なことになってるぞ！」

ほーき雲「はあ！？」

モニターをよく見ると……。

LOCK ACCELERATOR&LAST ORDER

ほーき雲「一方通行と打ち止めが監視されてる！？しかもハンターが歩いて2人のところへ接近している。」

マスターハンド「原因がわかった。あいつらに小型GPSがついている！」

ほーき雲「しょうがない。並行してミッション発動！」

『MISSION7』現在、一方通行と打ち止めが常にGPSによって監視されている。そのため、2人のところへハンターが歩いて接近中だ。阻止するには2人についている小型GPSを他の逃走者にくつつける！』

一方通行「はア？ふざけんよ。」

打ち止め「ヤバイよ。ってミサカはミサカはあわててみたり！」

現在、一方通行と打ち止めは同じ場所にいる。よって全てのハンターが1ヶ所に接近中ということだ。

しら「冷凍銃だけじゃ耐えられないね。」

マルス「とにかなすりつけられるのは避けたいところだな。」

しかし、一方通行に見つかってしまった。

一方通行「見つけた。」

そして一方通行は『打ち止めの』GPSを取って投げつけた。GPSがくつついたのは……。

藤江「ん？後ろに何か当たったような……。」

藤江だ。しかし気づいていない。

一方通行「今すぐ俺から離れる。捕まるぞ。」

打ち止め「でも一緒にいたい。ってミサカはミサカは希望を言ってみたり。」

一方通行「うるせエ！俺はお前に捕まって欲しくねエンだよ！だから早く俺から離れる！」

そして、少しの沈黙があった。そして……。

打ち止め「わかったよ。気をつけてね。ってミサカはミサカは心配しつつも自分の身の安全を考えてみる。」

その頃、藤江のGPSによって冷凍銃を持っている3人にハンターが接近。

ハンター「（見つけた!）」

しら「ハンター！」

3人はバラバラになって逃げる。ハンターが視界にとらえたのはGPSがついている藤江だ。

藤江「ヤバッ！！」

ポン！

藤江確保 残り95人

その時、何かが起こった。

藤江のGPSがワープしたのだ。

ワープした先は……。

LOCK TOMA KAMIJO

上条当麻だ。

インデックス「ねえとうま、GPSって何？」

その頃、上条当麻は科学音痴のインデックスにGPSの意味を教え
ていた。インデックスはわざわざそれを聞くために牢獄までやって
来たようだ。

当麻「GPSってというのは、遠くから現在地を探すための機械だよ。
つまり、GPSがついているやつ場所はGPS探知をしているやつに
知られているってことだな。」

インデックス」で、そのGPSって機械はどんな形なの？とつまに
ついてるそれみたいなの？」

当麻「へ？」

そこでメールが来た。

『藤江確保 残り95人 さらに新しくわかったこととして、GPS
Sがついている逃走者が確保されると別の逃走者にランダムで移動
するらしい。』

そこで、謎の人物は自分のミスに気づいた。

????「あつ、確保されている逃走者につけちゃったじゃん。すでに
確保されている逃走者を登録して再転送！」

そしてGPSがついたのは誰だ!?

残り時間883:30 逃走者95人

続く

とまやまなできごと（後書き）

とにかくいろんな出来事起こりすぎですね。監視GPS、謎の深緑の服の男、そして進行中のMISSION6。次回投稿までに状況を整理しておくことをおすすめします。だって作者自身も若干ごちゃごちゃしてきたから・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4121y/>

大規模過ぎる五武山市での逃走中～スマブラ+とある魔術の禁書目録+～

2012年1月13日21時00分発行